

科目名	一般教養Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1年生の一般教養ⅠではSPIの基礎的な問題を解いてきましたので、2年生では応用的な問題に取り組んでいきます。（講義） 更に修得した知識を、状況に応じてアウトプット出来るように、学生が積極的に発言できる授業形態にします。毎回テーマを決めて、スピーチやクラスディスカッションを実施します。（演習） また英語を使う職種を目指している学生が多いので、海外のニュースや話題を取り上げながら、外資系の企業の現状も学んでいきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業概要と一般常識のチェックテスト（学生の基礎学力を測る）</li> <li>2. 複雑な感情表現を表す語句</li> <li>3. 文章中の抽象的な表現</li> <li>4. 日常的に使われる故事成語・四字熟語</li> <li>5. 呼応の副詞の使い方 / 小テスト</li> <li>6. ロシアとEU</li> <li>7. 中国とアメリカの行方</li> <li>8. アジアの中の日本</li> <li>9. 世界の中の日本</li> <li>10. 作文（テーマ：未定）</li> <li>11. 日本の企業</li> <li>12. 外資系企業</li> <li>13. アフターコロナ時代における、働き方の変化</li> <li>14. ディスカッション（テーマ：未定）</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト 20 点、作文 20 点、ディスカッション 20 点、期末試験 40 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後、必ず復習をしてください。次の授業の始めに、確認テストを行います。
履修に 当たっての 留意点	新聞や本を読むことを、心掛けてください。

科目名	一般教養Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に引き続き、基本的な一般常識を学びます。日本社会の仕組みや現状を、主に政治経済面から解説していきます。</p> <p>更に国内外のニュースや話題を取り上げ、それについてのスピーチやディスカッションを実施し、表現力を養います。</p> <p>また新聞を読まない学生が多いので、記事の切り抜きを読みながら時事問題を解き、一般教養を身に付けます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方自治と産業</li> <li>2. 中部地方の企業</li> <li>3. 国際機関</li> <li>4. 外来語と英略語（ビジネス用語）</li> <li>5. 小テスト①</li> <li>6. 憲法・法律・裁判</li> <li>7. 国会・内閣・政党</li> <li>8. 小テスト②</li> <li>9. SDG's と企業</li> <li>10. AI と企業</li> <li>11. 情報社会の行方</li> <li>12. ディスカッション（テーマ：未定）</li> <li>13. グローバル化とダイバーシティ</li> <li>14. 作文（テーマ：未定）</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15点、小テスト②15点、作文15点、ディスカッション15点、期末テスト40点の計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	各小テストで10点以下の学生には、課題を出します。
履修に 当たっての 留意点	テレビやネット上で流れているニュースを、日頃からチェックしてください。

科目名	コンピューターリテラシーⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン（実務経験：なし）	
学科・学年	英語本科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。          学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。</p> <p>また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Word、動画作成</li> <li>2. Word、動画作成</li> <li>3. Word、動画作成</li> <li>4. Word、動画作成</li> <li>5. Word、動画作成</li> <li>6. Word、動画作成</li> <li>7. Word、動画作成</li> <li>8. Word、動画作成</li> <li>9. Excel、動画作成</li> <li>10. Excel、動画作成</li> <li>11. Excel、動画作成</li> <li>12. Excel、動画作成</li> <li>13. Excel、動画作成</li> <li>14. 動画視聴・課題テスト提出</li> <li>15. 動画視聴・課題テスト提出</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	In class quizzes, participation, and the exam will determine the final grade.	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	コンピュータリテラシーⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン（実務経験：なし）	
学科・学年	英語本科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。          学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。</p> <p>また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Excel、動画作成</li> <li>2. Excel、動画作成</li> <li>3. Excel、動画作成</li> <li>4. Excel、動画作成</li> <li>5. Excel、動画作成</li> <li>6. Excel、動画作成</li> <li>7. PowerPoint、動画作成</li> <li>8. PowerPoint、動画作成</li> <li>9. PowerPoint、動画作成</li> <li>10. PowerPoint、動画作成</li> <li>11. PowerPoint、動画作成</li> <li>12. PowerPoint、動画作成</li> <li>13. PowerPoint、動画作成</li> <li>14. 動画視聴・課題テスト提出</li> <li>15. 動画視聴・課題テスト提出</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	In class quizzes, participation, and the exam will determine the final grade.	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	Career Studies II (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	1年後に海外留学を予定している学生を対象に、留学前から渡航、現地での生活、学習さらに帰国に至る流れをシミュレートし、さまざまなシチュエーションで必要な英語力を習得することを目的とする。(聞き取り穴埋め問題、ロールプレイング、ディクテーション、シャドウイング、ペアワーク等を実施する。)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション (授業概要の説明)</li> <li>2. On the Plane ①</li> <li>3. On the Plane ②</li> <li>4. Airport Arrival Procedure ①</li> <li>5. Airport Arrival Procedure ②</li> <li>6. Review ①</li> <li>7. Meeting the Host Family ①</li> <li>8. Meeting the Host Family ②</li> <li>9. Sharing Japanese Culture ①</li> <li>10. Sharing Japanese Culture ②</li> <li>11. Review ②</li> <li>12. Taking the Bus ①</li> <li>13. Taking the Bus ②</li> <li>14. Orientation ①</li> <li>15. Orientation ②</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Go! Global ―グローバルキャリアをめざして―
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に留学中における英語でのコミュニケーションを意識し、可能な限り英語で自己表現すること
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなうこと

科目名	Career Studies II (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	1年後に海外留学を予定している学生を対象に、留学前から渡航、現地での生活、学習さらに帰国に至る流れをシュミレートし、さまざまなシチュエーションで必要な英語力を習得することを目的とする。(聞き取り穴埋め問題、ロールプレイング、ディクテーション、シャドウイング、ペアワーク等を実施する。)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Making Phone Calls ①</li> <li>2. Making Phone Calls ②</li> <li>3. Seeking Medical Care ①</li> <li>4. Seeking Medical Care ②</li> <li>5. Review ①</li> <li>6. Giving Presentations ①</li> <li>7. Giving Presentations ②</li> <li>8. Shopping ①</li> <li>9. Shopping ②</li> <li>10. Review ②</li> <li>11. Airport Departure Procedures ①</li> <li>12. Airport Departure Procedures ②</li> <li>13. Keeping in Touch by Email ①</li> <li>14. Keeping in Touch by Email ②</li> <li>15. Review ③</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Go! Global ―グローバルキャリアをめざして―
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に留学中における英語でのコミュニケーションを意識し、可能な限り英語で自己表現すること
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと

科目名	Communication Practice II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. In the Middle of Nowhere ①</li> <li>2. In the Middle of Nowhere ②</li> <li>3. Blackmail ①</li> <li>4. Blackmail ②</li> <li>5. Review ①</li> <li>6. Home Sweet Home ①</li> <li>7. Home Sweet Home ②</li> <li>8. Negotiations ①</li> <li>9. Negotiations ②</li> <li>10. Review ②</li> <li>11. Visiting Cloutier ①</li> <li>12. Visiting Cloutier ②</li> <li>13. At Alfie's Place ①</li> <li>14. At Alfie's Place ②</li> <li>15. Review ③</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる時間をもつ
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと

科目名	Communication Practice II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. David in a Trip ①</li> <li>2. David in a Trip ②</li> <li>3. Confrontation ①</li> <li>4. Confrontation ②</li> <li>5. Review ①</li> <li>6. Digging a Grave ①</li> <li>7. Digging a Grave ②</li> <li>8. Another Confrontation ①</li> <li>9. Another Confrontation ②</li> <li>10. Review ②</li> <li>11. Great, Now We're Trapped ①</li> <li>12. Great, Now We're Trapped ②</li> <li>13. It's Up to You, David ①</li> <li>14. It's Up to You, David ②</li> <li>15. Review ③</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる時間をもつ
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと

科目名	Communication Practice II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus</li> <li>2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is always expected. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus</li> <li>2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and possibly a written examination in class.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication PracticeⅡ④（前期 30 時間(90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication PracticeⅡの前期の講義では、書かれている内容を正確に理解する力をつけること、読み取った内容をまとめ、自分の言葉で発信できるようになることを目標とします。ミステリーを題材とした物語を読み、それに関連した問題を解きながら物語への理解を深めます。またその中から役立つ表現を見つけ、学ぶことで使える語彙やセンテンスを増やします。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Unit1 動名詞や to 不定詞：好みを表す表現</li> <li>3. Unit1 提案を表す文</li> <li>4. Unit2 be going to や will、現在進行形：未来の表現</li> <li>5. Unit2 所有代名詞</li> <li>6. Unit3 現在形を含む文：スケジュール</li> <li>7. Unit3 現在形を含む文：習慣的行動</li> <li>8. まとめ</li> <li>9. Unit4 may/could：許可と可能性</li> <li>10. Unit4 shall：丁寧な申し出と提案</li> <li>11. Unit5 肯定文の have to と must</li> <li>12. Unit5 不定代名詞</li> <li>13. Unit6 現在完了形と過去形の対比</li> <li>14. Unit6 can と could の対比</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication PracticeⅡ④（後期 30 時間(90 分/コマ)） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication PracticeⅡの後期は、前期に引き続き、ミステリーを題材とした物語を読み、問題を解くことで理解を深めます。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。また、前期の講義を通して身につけた英語の基礎力を活用し、書いてある内容を理解できること、さらに、学んだ文法などを用いて自身の考えを表現できるようになることを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Unit7 現在進行形の状態動詞、可算名詞と不可算名詞</li> <li>3. Unit7 How many…?や How much…? を含む文</li> <li>4. Unit8 過去進行形を含む文</li> <li>5. Unit8 過去進行形と過去形が共に使われる文</li> <li>6. Unit9 受動態を含む文①</li> <li>7. Unit9 受動態を含む文②</li> <li>8. まとめ</li> <li>9. Unit10 副詞</li> <li>10. Unit10 比較を含む文</li> <li>11. Unit11 付加疑問文</li> <li>12. Unit11 wh 疑問文</li> <li>13. Unit12 関係節を含む文</li> <li>14. Unit12 when を含む文</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice II ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation 8-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation 8-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, Now We're Trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, Now We're Trapped 11-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Verbs of preference (In the Middle of Nowhere)</li> <li>2. How about, Why don't, should: suggestions (In the Middle of Nowhere)</li> <li>3. Be going to: future (Blackmail)</li> <li>4. Will: future (Blackmail)</li> <li>5. Present continuous: future (Blackmail)</li> <li>6. Possessive pronouns (Blackmail)</li> <li>7. Present simple: schedules and habitual activities (Home Sweet Home)</li> <li>8. May/ Could: permission and possibility (Negotiations)</li> <li>9. Shall I/ Shall we: polite offer and suggestions (Negotiations)</li> <li>10. Have/ Has to and must in positive sentences (Visiting Cloutier)</li> <li>11. Don't have to vs. must not/ mustn't (Visiting Cloutier)</li> <li>12. Someone/ Something, etc. (Visiting Cloutier)</li> <li>13. Present perfect vs. past simple (At Alfie's Place)</li> <li>14. Can vs. could (At Alfie's Place)</li> <li>15. Review</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン : ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Communication Practice II ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. State verbs with present continuous forms (David in a Trap)</li> <li>2. Countable and uncountable nouns (David in a Trap)</li> <li>3. How many or How much (David in a Trap)</li> <li>4. Past continuous (Confrontation)</li> <li>5. Using past continuous and past simple together (Confrontation)</li> <li>6. Passive voice (Digging a Grave)</li> <li>7. Adverbs (Another Confrontation)</li> <li>8. Comparatives (Another Confrontation)</li> <li>9. Superlatives (Another Confrontation)</li> <li>10. Questions tags (Great, Now We're Trapped)</li> <li>11. Wh-question words (Great, Now We're Trapped)</li> <li>12. Relative clauses (It's Up to You, David)</li> <li>13. When + present simple, present continuous (It's Up to You, David)</li> <li>14. Review</li> <li>15. Discussion practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service EnglishⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）	
学科・学年	英語本科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。</p> <p>（写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。）</p>	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Warm-Up（自己紹介、授業概要と評価方法の説明）</li> <li>2. Unit 1 Making connections：Grammar, Vocabulary</li> <li>3. Unit 1 Making connections：Work skills</li> <li>4. Unit 1 Making connections：Functions</li> <li>5. Unit 2 International design：Grammar, Vocabulary</li> <li>6. Unit 2 International design：Work skills</li> <li>7. Unit 2 International design：Functions</li> <li>8. Unit 3 Future lifestyles：Grammar, Vocabulary</li> <li>9. Unit 3 Future lifestyles：Work skills</li> <li>10. Unit 3 Future lifestyles：Functions</li> <li>11. Unit 4 Heritage：Grammar, Vocabulary</li> <li>12. Unit 4 Heritage：Work skills</li> <li>13. Unit 4 Heritage：Functions</li> <li>14. Unit 5 Fashion and Function：Grammar, Vocabulary</li> <li>15. Unit 5 Fashion and Function：Work skills</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 <sup>RD</sup> EDITION INTERMEDIATE Student's Book	
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。	
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。	

科目名	Hospitality Service EnglishⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）	
学科・学年	英語本科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。</p> <p>（写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。）</p>	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 5 Fashion and Function : Functions</li> <li>2. Unit 6 Using innovation : Grammar, Vocabulary</li> <li>3. Unit 6 Using innovation : Work skills</li> <li>4. Unit 6 Using innovation : Functions</li> <li>5. Unit 7 Work styles and careers : Grammar, Vocabulary</li> <li>6. Unit 7 Work styles and careers : Work skills</li> <li>7. Unit 7 Work styles and careers : Functions</li> <li>8. Unit 8 Processes : Grammar, Vocabulary</li> <li>9. Unit 8 Processes : Work skills</li> <li>10. Unit 8 Processes : Functions</li> <li>11. Unit 9 The business of sport : Grammar, Vocabulary</li> <li>12. Unit 9 The business of sport : Work skills</li> <li>13. Unit 9 The business of sport : Functions</li> <li>14. Unit10 Great partnership : Grammar, Vocabulary</li> <li>15. Unit10 Great partnership : Work skills, Functions</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 <sup>RD</sup> EDITION INTERMEDIATE Student' s Book	
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。	
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。	

科目名	Hospitality Service English II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 1</li> <li>7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 2</li> <li>10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 3</li> <li>13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review)</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Hospitality Service English II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back and syllabus review.</li> <li>2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 4</li> <li>7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 5</li> <li>10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 6</li> <li>13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review)</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Hospitality Service English II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 <b>GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION</b> 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介 テキストの説明、趣旨</li> <li>2. Unit1 Making connections Grammar</li> <li>3. Unit1 Making connections Vocabulary</li> <li>4. Unit1 Making connections Work skills, Functions</li> <li>5. Unit2 International design Grammar</li> <li>6. Unit2 International design Vocabulary</li> <li>7. Unit2 International design Work skills, Functions</li> <li>8. Unit3 Future lifestyle Grammar</li> <li>9. Unit3 Future lifestyle Vocabulary</li> <li>10. Unit3 Future lifestyle Work skills, Functions</li> <li>11. Unit4 Heritage Grammar</li> <li>12. Unit4 Heritage Vocabulary</li> <li>13. Unit4 Heritage Work skills, Functions</li> <li>14. Unit5 Fashion and function Grammar</li> <li>15. Unit5 Fashion and function Vocabulary</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3 <sup>rd</sup> Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で80点、平常点20点で合計100点とし、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English programなどを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験 : 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに 4 つのセクションに分かれています。 <b>GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION</b> 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit5 Fashion and function Work skills, Function</li> <li>2. Unit6 Using innovation Grammar</li> <li>3. Unit6 Using innovation Vocabulary</li> <li>4. Unit6 Using innovation Work skills, Functions</li> <li>5. Unit7 Work styles and careers Grammar</li> <li>6. Unit7 Work styles and careers Vocabulary</li> <li>7. Unit7 Work styles and careers Work skills, Functions</li> <li>8. Unit8 Processes Grammar</li> <li>9. Unit8 Processes Vocabulary</li> <li>10. Unit8 Processes Work skills, Functions</li> <li>11. Unit9 The business of sport Grammar</li> <li>12. Unit9 The business of sport Vocabulary</li> <li>13. Unit9 The business of sport Work skills, Functions</li> <li>14. Unit10 Great partnerships Gramma, Vocabulary</li> <li>15. Unit10 Great partnerships Work skills, Functions</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3 <sup>rd</sup> Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English program などを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English II ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。</li> <li>・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。</li> </ul> <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。(講義・演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (授業の進め方、テキストについて)</li> <li>2. Unit 1 Making connections (現在形)</li> <li>3. Networking</li> <li>4. Unit 2 International design (過去形)</li> <li>5. Team meeting</li> <li>6. Unit 3 Future lifestyle (will/may/might/be likely/possible)</li> <li>7. Email</li> <li>8. Unit 4 Heritage (比較級)</li> <li>9. Presentation</li> <li>10. Unit 5 Fashion and function( have to /must/need to/can)</li> <li>11. Giving advice and suggestions</li> <li>12. Unit 6 Using innovation (過去完了形)</li> <li>13. Describing Problems</li> <li>14. Unit 7 Work Styles and careers</li> <li>15. 前期末試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English II ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。</li> <li>・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。</li> </ul> <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。（講義・演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Email（job applications）</li> <li>2. Unit 8 Processes（現在完了形）</li> <li>3. Time management</li> <li>4. Discussing and reaching agreement</li> <li>5. Presentation（トークを組み立てる）</li> <li>6. Telephoning（電話での会話）</li> <li>7. Unit 9 The Business of sports（関係詞）</li> <li>8. Describing personal qualities at work</li> <li>9. Job interviews</li> <li>10. Changing Plans</li> <li>11. Unit 10 Great partnerships (should/ shouldn't have)</li> <li>12. Changing Career</li> <li>13. Teleconferencing and videoconferencing</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 後期末試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book)
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English II ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Making connections①</li> <li>2. Making connections②</li> <li>3. International design①</li> <li>4. International design②</li> <li>5. Review①</li> <li>6. Discussion practice</li> <li>7. Future lifestyles①</li> <li>8. Future lifestyles②</li> <li>9. Heritage①</li> <li>10. Heritage②</li> <li>11. Review②</li> <li>12. Fashion and function①</li> <li>13. Fashion and function②</li> <li>14. Review③</li> <li>15. Discussion practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 <sup>rd</sup> Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Hospitality Service English II ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Using innovation①</li> <li>2. Using innovation②</li> <li>3. Work styles and careers①</li> <li>4. Work styles and careers②</li> <li>5. Review①</li> <li>6. Discussion practice</li> <li>7. Processes①</li> <li>8. Processes②</li> <li>9. The business of sport①</li> <li>10. The business of sport②</li> <li>11. Review②</li> <li>12. Great partnerships①</li> <li>13. Great partnerships②</li> <li>14. Review③</li> <li>15. Discussion practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 <sup>rd</sup> Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Hospitality Service English II ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Making Connections-Social Networks and the Internet</li> <li>2. Making Connections-Writing a Professional Profile</li> <li>3. Making Connections-Networking</li> <li>4. International Design-Starting a New Business</li> <li>5. International Design-Team Meetings</li> <li>6. International Design-Checking Progress</li> <li>7. Future Lifestyles-The Speed of Change</li> <li>8. Future Lifestyles-Emails</li> <li>9. Future Lifestyles-Making Arrangements</li> <li>10. Heritage-City Descriptions</li> <li>11. Heritage-Presentations</li> <li>12. Heritage-Giving Opinions</li> <li>13. Fashion and Function-Colours and Colour Idioms</li> <li>14. Fashion and Function-Telephoning</li> <li>15. Fashion and Function-Giving Advice and Suggestions</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English II ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Using Innovation-Water Footprint</li> <li>2. Using Innovation-Presentation</li> <li>3. Using Innovation-Describing Problems</li> <li>4. Work Styles and Careers- Money and Finance Vocabulary</li> <li>5. Work Styles and Careers-Emails</li> <li>6. Work Styles and Careers-Discussing and Reaching Agreement</li> <li>7. Processes-Product Journey</li> <li>8. Processes-Time Management</li> <li>9. Processes-Checking Understanding and Clarifying</li> <li>10. The Business of Sport-Describing Personal Qualities at Work</li> <li>11. The Business of Sport-Job Interviews</li> <li>12. The Business of Sport-Changing Plans</li> <li>13. Great Partnerships-Changing Careers</li> <li>14. Great Partnerships-Teleconferencing and Videoconferencing</li> <li>15. Great Partnerships-Catching Up</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English II ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 1</li> <li>7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 2</li> <li>10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 3</li> <li>13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review)</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Hospitality Service English II ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back and syllabus review.</li> <li>2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 4</li> <li>7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 5</li> <li>10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 6</li> <li>13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review)</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Vocabulary Building II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職や進学の際に英語力を測る資格として TOEIC テストのスコアが必要となると思われる学生を対象として、スコアアップに必要な語彙力を向上させると同時に、実践的な場面で使える英単語フレーズを学習し、英語運用能力を向上させることを目的とする。  授業では、「教科書に出ている TOEIC 単語」と「TOEIC 独自語」「ビジネス英単語フレーズ」に分けて徹底的に語彙力を強化することを目指す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必ず押さえない超頻出単語 438—レベル 2・単語 No.0610-0653 解説</li> <li>2. 独自語・単語 No.1341-1350・復習 / ミニテスト</li> <li>3. レベル 2・単語 No.0654-0698 解説</li> <li>4. 独自語・単語 No.1351-1360・復習 / ミニテスト</li> <li>5. レベル 2&amp;3・単語 No.0699-0741 解説</li> <li>6. 独自語・単語 No.1361-1370・復習 / ミニテスト</li> <li>7. レベル 3・単語 No.0742-0781 解説</li> <li>8. 独自語・単語 No.1371-1380・復習 / ミニテスト</li> <li>9. レベル 3・単語 No.0782--0821 解説</li> <li>10. 独自語・単語 No.1381-1390・復習 / ミニテスト</li> <li>11. レベル 3・単語 No.0822-0862 解説</li> <li>12. 独自語・単語 No.1391-1400・復習 / ミニテスト</li> <li>13. ここで差がつく重要単語 338—レベル 1・単語 No.0863-0908 解説</li> <li>14. 独自語・単語 No.1401-1410・復習 / ミニテスト</li> <li>15. 期末テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	THE 1500 CORE VOCABULARY FOR THE TOEIC TEST (SEIBIDO) [単語集] SEIBIDO 英単語おぼえ放題
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、スピーキング、単語テスト 80 点、の計 100 点とし、 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	次回の授業内容を予習し、各 UNIT の概要を把握して授業に臨むこと。 また、各 UNIT 終了後に復習テストを実施するので、授業内容を復習しておくこと。
履修に 当たっての 留意点	毎回テキストと辞書を必ず持参すること。授業に積極的に参加すること。

科目名	Vocabulary Building II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職や進学の際に英語力を測る資格として TOEIC テストのスコアが必要となると思われる学生を対象として、スコアアップに必要な語彙力を向上させると同時に、実践的な場面で使える英単語フレーズを学習し、英語運用能力を向上させることを目的とする。  授業では、「教科書に出ている TOEIC 単語」と「TOEIC 独自語」「ビジネス英単語フレーズ」に分けて徹底的に語彙力を強化することを目指す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ここで差がつく重要単語 338-レベル 1 &amp; 2・単語 No.0909-0951 解説</li> <li>2. 独自語・単語 No.1411-1420・復習 / ミニテスト</li> <li>3. ここで差がつく重要単語 338-レベル 2・単語 No.0952-0991 解説</li> <li>4. 独自語・単語 No.1421-1430・復習 / ミニテスト</li> <li>5. ここで差がつく重要単語 338-レベル 2・単語 No.0992-1033 解説</li> <li>6. 独自語・単語 No.1431-1440・復習 / ミニテスト</li> <li>7. ここで差がつく重要単語 338-レベル 2&amp;3・単語 No.1034-1074 解説</li> <li>8. 独自語・単語 No.1441-1460・復習 / ミニテスト</li> <li>9. ここで差がつく重要単語 338-レベル 3・単語 No.1075-1116 解説</li> <li>10. 独自語・単語 No.1461-1480・復習 / ミニテスト</li> <li>11. ここで差がつく重要単語 338-レベル 3・単語 No.1117-1158 解説</li> <li>12. 独自語・単語 No.1481-1500・復習 / ミニテスト</li> <li>13. ここで差がつく重要単語 338-レベル 3・単語 No.1159-1200 解説</li> <li>14. 全体復習 / ミニテスト</li> <li>15. 期末テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	THE 1500 CORE VOCABULARY FOR THE TOEIC TEST (SEIBIDO) [単語集] SEIBIDO 英単語おぼえ放題
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、スピーキング、単語テスト 80 点、の計 100 点とし、 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	次回の授業内容を予習し、各 UNIT の概要を把握して授業に臨むこと。 また、各 UNIT 終了後に復習テストを実施するので、授業内容を復習しておくこと。
履修に 当たっての 留意点	毎回テキストと辞書を必ず持参すること。授業に積極的に参加すること。

科目名	Vocabulary Building II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職や進学の際に英語力を測る資格として TOEIC テストのスコアが必要となると思われる学生を対象として、スコアアップに必要な語彙力を向上させると同時に、実践的な場面で使える英単語フレーズを学習し、英語運用能力を向上させることを目的とする。  授業では、「教科書に出ている TOEIC 単語」と「TOEIC 独自語」「ビジネス英単語フレーズ」に分けて徹底的に語彙力を強化することを目指す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必ず押さえない超頻出単語 438—レベル 2・単語 No.0610-0653 解説</li> <li>2. 独自語・単語 No.1341-1350・復習 / ミニテスト</li> <li>3. レベル 2・単語 No.0654-0698 解説</li> <li>4. 独自語・単語 No.1351-1360・復習 / ミニテスト</li> <li>5. レベル 2&amp;3・単語 No.0699-0741 解説</li> <li>6. 独自語・単語 No.1361-1370・復習 / ミニテスト</li> <li>7. レベル 3・単語 No.0742-0781 解説</li> <li>8. 独自語・単語 No.1371-1380・復習 / ミニテスト</li> <li>9. レベル 3・単語 No.0782--0821 解説</li> <li>10. 独自語・単語 No.1381-1390・復習 / ミニテスト</li> <li>11. レベル 3・単語 No.0822-0862 解説</li> <li>12. 独自語・単語 No.1391-1400・復習 / ミニテスト</li> <li>13. ここで差がつく重要単語 338—レベル 1・単語 No.0863-0908 解説</li> <li>14. 独自語・単語 No.1401-1410・復習 / ミニテスト</li> <li>15. 期末テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	THE 1500 CORE VOCABULARY FOR THE TOEIC TEST (SEIBIDO) [単語集] SEIBIDO 英単語おぼえ放題
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、スピーキング、単語テスト 80 点、の計 100 点とし、 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	次回の授業内容を予習し、各 UNIT の概要を把握して授業に臨むこと。 また、各 UNIT 終了後に復習テストを実施するので、授業内容を復習しておくこと。
履修に 当たっての 留意点	毎回テキストと辞書を必ず持参すること。授業に積極的に参加すること。

科目名	Vocabulary Building II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職や進学の際に英語力を測る資格として TOEIC テストのスコアが必要となると思われる学生を対象として、スコアアップに必要な語彙力を向上させると同時に、実践的な場面で使える英単語フレーズを学習し、英語運用能力を向上させることを目的とする。  授業では、「教科書に出ている TOEIC 単語」と「TOEIC 独自語」「ビジネス英単語フレーズ」に分けて徹底的に語彙力を強化することを目指す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ここで差がつく重要単語 338-レベル 1 &amp; 2・単語 No.0909-0951 解説</li> <li>2. 独自語・単語 No.1411-1420・復習 / ミニテスト</li> <li>3. ここで差がつく重要単語 338-レベル 2・単語 No.0952-0991 解説</li> <li>4. 独自語・単語 No.1421-1430・復習 / ミニテスト</li> <li>5. ここで差がつく重要単語 338-レベル 2・単語 No.0992-1033 解説</li> <li>6. 独自語・単語 No.1431-1440・復習 / ミニテスト</li> <li>7. ここで差がつく重要単語 338-レベル 2&amp;3・単語 No.1034-1074 解説</li> <li>8. 独自語・単語 No.1441-1460・復習 / ミニテスト</li> <li>9. ここで差がつく重要単語 338-レベル 3・単語 No.1075-1116 解説</li> <li>10. 独自語・単語 No.1461-1480・復習 / ミニテスト</li> <li>11. ここで差がつく重要単語 338-レベル 3・単語 No.1117-1158 解説</li> <li>12. 独自語・単語 No.1481-1500・復習 / ミニテスト</li> <li>13. ここで差がつく重要単語 338-レベル 3・単語 No.1159-1200 解説</li> <li>14. 全体復習 / ミニテスト</li> <li>15. 期末テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	THE 1500 CORE VOCABULARY FOR THE TOEIC TEST (SEIBIDO) [単語集] SEIBIDO 英単語おぼえ放題
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、スピーキング、単語テスト 80 点、の計 100 点とし、 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	次回の授業内容を予習し、各 UNIT の概要を把握して授業に臨むこと。 また、各 UNIT 終了後に復習テストを実施するので、授業内容を復習しておくこと。
履修に 当たっての 留意点	毎回テキストと辞書を必ず持参すること。授業に積極的に参加すること。

科目名	Grammar ClinicⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	本講の目標は、英語の基礎力を「語彙」と「文法」の両面から徹底的に養成することにある。とくに英文法については 24 項目に分類し、構造と語順、主な使用例文を確認し英語力の向上を図る。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Warm-Up（自己紹介、授業概要と評価方法の説明）</li> <li>2. Unit 1 並び方のルール —英語の構造と語順①—</li> <li>3. Unit 2 語句や節のつながり —英語の構造と語順②—</li> <li>4. Unit 3 be 動詞と一般動詞 —SVC/SVO/SV—</li> <li>5. Unit 4 一般動詞の使い方 —SVOO/SVOC—</li> <li>6. Unit 5 「～される」を表す表現 —態—</li> <li>7. Unit 6 英語の時間感覚① —現在形、現在進行形—</li> <li>8. Unit 7 英語の時間感覚② —過去形、未来表現—</li> <li>9. Unit 7 英語の時間感覚③ —現在完了形—</li> <li>10. Unit 8 否定①</li> <li>11. Unit 8 否定②</li> <li>12. Unit 9 前置詞①</li> <li>13. Unit 9 前置詞②</li> <li>14. Unit 10 助動詞①</li> <li>15. Unit 11 助動詞②</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Grammar ClinicⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	本講の目標は、英語の基礎力を「語彙」と「文法」の両面から徹底的に養成することにある。とくに英文法については 24 項目に分類し、構造と語順、主な使用例文を確認し英語力の向上を図る。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 11 助動詞③</li> <li>2. Unit 12 名詞と冠詞</li> <li>3. Unit 13 動名詞</li> <li>4. Unit 14 不定詞の名詞的用法</li> <li>5. Unit 15 使役動詞と知覚動詞①</li> <li>6. Unit 15 使役動詞と知覚動詞②</li> <li>7. Unit 16 不定詞の形容詞的用法</li> <li>8. Unit 17 現在分詞と過去分詞</li> <li>9. Unit 18 関係代名詞①</li> <li>10. Unit 18 関係代名詞②</li> <li>11. Unit 19 関係副詞</li> <li>12. Unit 20 不定詞の副詞的用法</li> <li>13. Unit 21 比較①</li> <li>14. Unit 22 比較②</li> <li>15. Unit 23 仮定法</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Grammar ClinicⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、総合的な英語力アップにつなげていく。小テストを実施し復習を適宜入れて理解を確実にしていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. シラバスの確認及び文法問題を解いていく</li> <li>2. 英語の構造と語順の理解</li> <li>3. Be 動詞と一般動詞</li> <li>4. 一般動詞の使い方</li> <li>5. 「～される」を表す表現（態）</li> <li>6. 現在、現在進行形、過去形、未来表現（英語の時間感覚①）</li> <li>7. 現在完了形（英語の時間感覚②）</li> <li>8. 様々な否定形</li> <li>9. 前置詞①</li> <li>10. 前置詞②</li> <li>11. 動詞の意味を補助する一助動詞①</li> <li>12. 動詞の意味を補助する一助動詞②</li> <li>13. 名詞と冠詞</li> <li>14. 復習問題</li> <li>15. 期末テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Grammar Clinic II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、総合的な英語力アップにつなげていく。小テストを実施し復習を適宜入れて理解を確実にしていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. シラバスの再確認及び後期目標の設定</li> <li>2. 名詞と冠詞</li> <li>3. 名詞の働きをする語句① (動名詞)</li> <li>4. 名詞の働きをする語句② (不定詞の名詞的用法)</li> <li>5. 使役動詞と知覚動詞</li> <li>6. 形容詞の働きをする語句と節① 不定詞の形容詞的用法</li> <li>7. 形容詞の働きをする語句と節② 現在分詞と過去分詞</li> <li>8. 形容詞の働きをする語句と節③ 関係代名詞</li> <li>9. 形容詞の働きをする語句と節④ 関係副詞</li> <li>10. 副詞の働きをする語句</li> <li>11. 比較①</li> <li>12. 比較②</li> <li>13. 仮定法</li> <li>14. 復習問題</li> <li>15. 期末テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目	Reading II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Reading II は、海外の大学で授業を受ける際に必須となる、大量の英文を早くかつ正確に読めるようになること、そして、内容を類推しながら理解する力をつけることを目的とします。 授業の方法としては、テキストの問題に、個人やペアワークで取り組みながら音読も行き、海外での授業時に必要な英語の読解基礎能力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スラッシュリーディングの方法を学ぶ</li> <li>2. 英単語のスペルから発音を理解するコツを学ぶ</li> <li>3. 英単語のアクセントや強弱の基本ルールを知る</li> <li>4. 英単語の同音異義語についての知識を増やす</li> <li>5. 英単語の品詞について学ぶ</li> <li>6. Unit 1 : Chapter 1 [What is learning?] vocabulary building</li> <li>7. Unit 1 : Chapter 1 [What is learning?] r-controlled vowels</li> <li>8. Unit 1 : Chapter 1 [What is learning?] /identify cause and effect</li> <li>9. Unit 1 : Chapter 1 [What is learning?] Tense</li> <li>10. Unit 1 : Chapter 1 [What is learning?] summarizing and retelling</li> <li>11. Unit 1 : Chapter 2 How is technology affecting learning?] vocabulary building</li> <li>12. Unit 1 : Chapter 2 How is technology affecting learning?] summarize ideas</li> <li>13. Unit 1 : Chapter 2 How is technology affecting learning?] adjective clauses</li> <li>14. Unit 1 : Chapter 2 How is technology affecting learning?] summarizing and retelling</li> <li>15. Extended skills</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	TRIO READING 3
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。 また、授業への積極的な取り組みも加味することとする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること。

科目	Reading II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Reading II 後期は、前期の授業で学んだ知識を活用し、海外の大学で授業を受ける際に必須となる、大量の英文を早くかつ正確に読めるようになること、そして、内容を類推しながら理解する力をより一層身につけることを目標とします。 授業の方法としては、テキストの問題に、個人やペアワークで取り組みながら音読もを行い、海外での授業時に必要な英語の読解基礎能力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 1 : Chapter 3 [Why do we do the things we do?] vocabulary building</li> <li>2. Unit 1 : Chapter 3 [Why do we do the things we do?] quoted speech</li> <li>3. Unit 1 : Chapter 3 [Why do we do the things we do?] summarizing and retelling</li> <li>4. Unit2 : Chapter 1 [Problem solved?] vocabulary building</li> <li>5. Unit2 : Chapter 1 [Problem solved?] consonant clusters</li> <li>6. Unit2 : Chapter 1 [Problem solved?] would/would be able to</li> <li>7. Unit2 : Chapter 1 [Problem solved?] summarizing and retelling</li> <li>8. Unit2 : Chapter 2 [How do I decide?] vocabulary building</li> <li>9. Unit2 : Chapter 2 [How do I decide?] making decisions</li> <li>10. Unit2 : Chapter 2 [How do I decide?] words with multiple meanings</li> <li>11. Unit2 : Chapter 2 [How do I decide?] summarizing and retelling</li> <li>12. Unit2 : Chapter 3 [How does nature affect us?] vocabulary building</li> <li>13. Unit2 : Chapter 3 [How does nature affect us?] vowels</li> <li>14. Unit2 : Chapter 3 [How does nature affect us?] summarizing and retelling</li> <li>15. Extended skills</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	TRIO READING 3
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。 また、授業への積極的な取り組みも加味することとする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること。

科目名	Reading II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours and participate in the books online practice.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Readiness Unit (words)(parts of speech) (phrases, sentences and paragraphs)</li> <li>3. Unit 1 Learning and behavior</li> <li>4. Chapter 1 What is learning? Reading 1 How do we learn?</li> <li>5. Chapter 1 What is learning? Reading 2 Does testing help us learn?</li> <li>6. Chapter 2 How is technology affecting learning? Reading 1 Can robots learn?</li> <li>7. Chapter 2 How is technology affecting learning? Reading 2 Do video games teach?</li> <li>8. Chapter 3 Why do we do the things we do? Reading 1 Why do we sleep?</li> <li>9. Chapter 3 Why do we do the things we do? Reading 2 Why do we laugh?</li> <li>10. Unit 1 Wrap up</li> <li>11. Unit 2 Individuals and society</li> <li>12. Chapter 4 A business of one? Reading 1 Who is self-employed?</li> <li>13. Chapter 4 A business of one? Reading 2 What is crowdfunding?</li> <li>14. Chapter 5 How do we fit in? Reading 1 Why is fashion important?</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Reading II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours and participate in the books online practice.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus.</li> <li>2. Chapter 5 How do we fit in? Reading 2 What is culture shock?</li> <li>3. Chapter 6 Making a difference with technology Reading 1 A new device gives hope</li> <li>4. Chapter 6 Making a difference with technology Reading 2 Helping the deaf to feel and see sound</li> <li>5. Unit 2 Wrap up</li> <li>6. Unit 3 Problems and Solutions</li> <li>7. Chapter 7 Problem solved? Reading 1 Do animals solve problems?</li> <li>8. Chapter 7 Problem solved? Reading 2 How do I search work?</li> <li>9. Chapter 8 How do I decide? Reading 1 Are more choices better?</li> <li>10. Chapter 8 How do I decide? Reading 2 Do your decisions make you happy?</li> <li>11. Chapter 9 How does nature affect us? Reading 1 How to survive an avalanche?</li> <li>12. Chapter 9 How does nature affect us? Reading 2 Do we need nature?</li> <li>13. Unit 3 Wrap up</li> <li>14. Unit 1, 2, 3 review</li> <li>15. Second semester and yearly review. Preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	TOEIC/英検Ⅱ①（前期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ①（後期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ②（前期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ②（後期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ③（前期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs（実務経験：英会話教師 12 年間）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ③（後期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs（実務経験：英会話教師 12 年間）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ④（前期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	就職活動のために資格試験は必須である。2級の取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。2級は単語力、リーディング力、リスニング力、ライティング力が平等に求められる。また英検2級の一次試験に合格した者については積極的に2次試験対策として面接練習を行っていく。 平常点＋定期試験で評価を行う。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 20日間完成英検2級集中ゼミ 1、2日目</li> <li>2. 20日間完成英検2級集中ゼミ 3、4日目 単語テスト2級①</li> <li>3. 20日間完成英検2級集中ゼミ 5、6日目 単語テスト2級②</li> <li>4. 20日間完成英検2級集中ゼミ 7、8日目 単語テスト2級③</li> <li>5. 20日間完成英検2級集中ゼミ 9、10日目 単語テスト2級④</li> <li>6. 20日間完成英検2級集中ゼミ 11、12日目 単語テスト2級⑤</li> <li>7. 20日間完成英検2級集中ゼミ 13、14日目 単語テスト2級⑥</li> <li>8. 20日間完成英検2級集中ゼミ 15、16日目 単語テスト2級⑦</li> <li>9. 20日間完成英検2級集中ゼミ 17、18日目 単語テスト2級⑧</li> <li>10. 20日間完成英検2級集中ゼミ 19、20日目 単語テスト2級⑨</li> <li>11. 2級問題演習 ① 単語テスト2級⑩</li> <li>12. 2級問題演習 ② 単語テスト2級⑪</li> <li>13. 2級問題演習 ③ 単語テスト2級⑫</li> <li>14. 2級問題演習 ④ 単語テスト2級⑬</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Daily20日間完成英検2級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検Ⅱ④（後期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	就職活動のために資格試験は必須である。TOEIC600 点取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。またスピーキングも行い、点数取得のための英語ではなく、実際に使える英語を学ばせる。 平常点＋定期試験で評価を行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit1</li> <li>2. Unit2</li> <li>3. Unit3</li> <li>4. Unit4</li> <li>5. Unit5</li> <li>6. Unit6</li> <li>7. Unit7</li> <li>8. Unit8</li> <li>9. Unit9</li> <li>10. Unit10</li> <li>11. Unit11</li> <li>12. Unit12</li> <li>13. TOEIC 演習</li> <li>14. TOEIC 演習</li> <li>15. TOEIC 演習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Daily20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑤（前期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級（1 次試験）の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1. Warm-Up（自己紹介、授業概要と評価方法の説明） 2, 3. 基礎編：単語・熟語 4, 5. 基礎編：文法・語法 6, 7. 基礎編：長文読解① 8, 9. 基礎編：長文読解② 10, 11. 基礎編：長文読解③ 12, 13. 基礎編：長文読解④ 14, 15. 基礎編：長文読解⑤ 16, 17. 基礎編：英作文 18, 19. 基礎編：リスニング① 20, 21. 基礎編：リスニング② 22, 23. 応用編：単語・熟語① 24, 25. 応用編：単語・熟語② 26, 27. 2 次試験対策① 28, 29, 30. 2 次試験対策②
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ[新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑤（後期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級（1 次試験）の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1, 2. 応用編：文法・語法① 3, 4. 応用編：文法・語法② 5, 6. 応用編：短文の語句空所補充① 7, 8. 応用編：短文の語句空所補充② 9, 10. 応用編：長文の語句空所補充① 11, 12. 応用編：長文の語句空所補充② 13, 14. 応用編：長文の内容一致選択① 15, 16. 応用編：長文の内容一致選択② 17, 18. 応用編：英作文① 19, 20. 応用編：英作文② 21, 22. 応用編：英作文③ 23, 24. 応用編：リスニング① 25, 26. 応用編：リスニング② 27, 28. 2 次試験対策③ 29, 30. 2 次試験対策④
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ[新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥月（前期30時間（90分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>英検2級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英検についての説明 実力単語テスト</li> <li>2. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>3. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>4. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>5. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>6. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法</li> <li>7. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法</li> <li>8. 筆記1の単語、熟語の復習</li> <li>9. 筆記2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>10. 筆記2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>11. 筆記2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>12. 筆記2の単語、熟語の復習</li> <li>13. 英作文問題を攻略</li> <li>14. 2級模擬試験</li> <li>15. 2級模擬試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検2級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト20点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験80点で合計100点とし、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥月（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎編の復習 テスト</li> <li>2. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>3. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>4. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>5. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>6. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法</li> <li>7. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法</li> <li>8. 筆記 1 の単語、熟語の復習</li> <li>9. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>10. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>11. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>12. 筆記 2 の単語、熟語の復習</li> <li>13. 英作文問題を攻略</li> <li>14. 2 級模擬試験</li> <li>15. 2 級模擬試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥ 木（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。 短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。 英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。 リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>2. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>3. リスニング第 1 部 ①</li> <li>4. リスニング第 1 部のスクリプトチェック</li> <li>5. リスニング第 2 部 ①</li> <li>6. リスニング第 2 部のスクリプトチェック</li> <li>7. 英作文問題</li> <li>8. 英作文問題</li> <li>9. 英作文問題</li> <li>10. 英作文問題</li> <li>11. 英作文問題</li> <li>12. リスニングテスト</li> <li>13. 英作文テスト</li> <li>14. 2 級模擬試験</li> <li>15. 2 級模擬試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥ 木（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>2. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>3. 応用編 リスニング第 1 部 ①</li> <li>4. 応用編 リスニング第 1 部のスクリプトチェック</li> <li>5. 応用編 リスニング第 2 部 ①</li> <li>6. 応用編 リスニング第 2 部のスクリプトチェック</li> <li>7. 2 級リスニング模擬試験</li> <li>8. 2 級リスニング模擬試験</li> <li>9. 英作文問題</li> <li>10. 英作文問題</li> <li>11. 英作文問題</li> <li>12. 英作文問題を攻略</li> <li>13. 英作文テスト</li> <li>14. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング）</li> <li>15. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング）</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑦（前期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。</li> <li>・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。</li> <li>・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。（講義）</li> </ul>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 5,6. 4 日目 会話文の語句空所補充問題 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致選択問題 11,12. 7 日目 英作文 13,14. 8.9.10 日目 リスニング 15,16. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 17,18. 13 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 19,20. 14 日目 会話文の語句空所補充問題 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18 日目 リスニング 29,30. 19.20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業参加内容・課題、小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑦（後期 60 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。</li> <li>・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。</li> <li>・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。（講義）</li> </ul>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 5,6. 4 日目 短文の語句空所補充問題（語法） 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致問題 11,12. 7 日目 長文の内容一致選択問題 13,14. 8 日目 英作文 15,16. 9.10 日目 リスニング 17,18. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 19,20. 13.14 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18.19 日目 リスニング 29,30. 20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業参加内容・課題、小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	Composition II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome to the Party! (友人へのメール)</li> <li>2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール)</li> <li>3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方)</li> <li>4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方)</li> <li>5. This Is My Dream. (自分の夢について)</li> <li>6. My Hobby Is ... (自分の趣味について)</li> <li>7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について)</li> <li>8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明)</li> <li>9. What I Experienced (印象的な思い出の説明)</li> <li>10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明)</li> <li>11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方)</li> <li>12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える)</li> <li>13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明)</li> <li>14. 英文ライティングプラクティステスト</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフ・表問題の攻略①</li> <li>2. グラフ・表問題の攻略②</li> <li>3. グラフ・表問題表現ドリル</li> <li>4. グラフ・表問題演習</li> <li>5. 本論の形式①</li> <li>6. 本論の形式②</li> <li>7. 結論のまとめかた①</li> <li>8. 結論のまとめかた②</li> <li>9. パラフレージング①</li> <li>10. パラフレージング②</li> <li>11. 地図・読解問題の攻略</li> <li>12. 地図・読解問題演習</li> <li>13. 「賛成・反対」タイプの攻略</li> <li>14. 表現ドリル</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome to the Party! (友人へのメール)</li> <li>2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール)</li> <li>3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方)</li> <li>4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方)</li> <li>5. This Is My Dream. (自分の夢について)</li> <li>6. My Hobby Is ... (自分の趣味について)</li> <li>7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について)</li> <li>8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明)</li> <li>9. What I Experienced (印象的な思い出の説明)</li> <li>10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明)</li> <li>11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方)</li> <li>12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える)</li> <li>13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明)</li> <li>14. 英文ライティングプラクティステスト</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフ・表問題の攻略①</li> <li>2. グラフ・表問題の攻略②</li> <li>3. グラフ・表問題表現ドリル</li> <li>4. グラフ・表問題演習</li> <li>5. 本論の形式①</li> <li>6. 本論の形式②</li> <li>7. 結論のまとめかた①</li> <li>8. 結論のまとめかた②</li> <li>9. パラフレージング①</li> <li>10. パラフレージング②</li> <li>11. 地図・読解問題の攻略</li> <li>12. 地図・読解問題演習</li> <li>13. 「賛成・反対」タイプの攻略</li> <li>14. 表現ドリル</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome to the Party! (友人へのメール)</li> <li>2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール)</li> <li>3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方)</li> <li>4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方)</li> <li>5. This Is My Dream. (自分の夢について)</li> <li>6. My Hobby Is ... (自分の趣味について)</li> <li>7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について)</li> <li>8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明)</li> <li>9. What I Experienced (印象的な思い出の説明)</li> <li>10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明)</li> <li>11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方)</li> <li>12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える)</li> <li>13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明)</li> <li>14. 英文ライティングプラクティステスト</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフ・表問題の攻略①</li> <li>2. グラフ・表問題の攻略②</li> <li>3. グラフ・表問題表現ドリル</li> <li>4. グラフ・表問題演習</li> <li>5. 本論の形式①</li> <li>6. 本論の形式②</li> <li>7. 結論のまとめかた①</li> <li>8. 結論のまとめかた②</li> <li>9. パラフレージング①</li> <li>10. パラフレージング②</li> <li>11. 地図・読解問題の攻略</li> <li>12. 地図・読解問題演習</li> <li>13. 「賛成・反対」タイプの攻略</li> <li>14. 表現ドリル</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級合格に必要な文法、2 次試験対策、語彙力を補っていく。 特にスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、 テストを行う。 学生同士ペアになっての対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 2. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 3. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 4. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 5. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 6. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 7. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 8. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 9. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 10. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 11. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 12. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 13. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 14. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 15. 筆記・スピーキングテスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記と発音のテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ文法・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition II ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続きスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、テストを行う。</p> <p>学生同士ペアになったの対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。</p> <p>また TOEIC のリスニングは速度が速いため、耳を慣れさせるため、こちらで用意した教材を通して、リスニング力向上を目指す</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>2. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>3. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>4. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>5. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>6. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>7. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>8. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>9. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>10. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>11. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>12. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>13. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>14. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>15. リスニング・スピーキングテスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	リスニングとスピーキングのテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ表現・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition II ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明)</li> <li>2. Unit 1 ①</li> <li>3. Unit 1 ②</li> <li>4. Unit 2 ①</li> <li>5. Unit 2 ②</li> <li>6. Unit 3 ①</li> <li>7. Unit 3 ②</li> <li>8. Drills ①</li> <li>9. Unit 4 ①</li> <li>10. Unit 4 ②</li> <li>11. Unit 5 ①</li> <li>12. Unit 5 ②</li> <li>13. Unit 6 ①</li> <li>14. Unit 6 ②</li> <li>15. Drills ②</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition II ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 7 ①</li> <li>2. Unit 7 ②</li> <li>3. Unit 8 ①</li> <li>4. Unit 8 ②</li> <li>5. Drills ③</li> <li>6. Unit 9 ①</li> <li>7. Unit 9 ②</li> <li>8. Unit 10 ①</li> <li>9. Unit 10 ②</li> <li>10. Drills ④</li> <li>11. Unit 11 ①</li> <li>12. Unit 11 ②</li> <li>13. Unit 12 ①</li> <li>14. Unit 12 ②</li> <li>15. Drills ⑤</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition II ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEIC についての説明</li> <li>2. Unit1 part1-part4 リスニング</li> <li>3. Unit1 part5-part7 リーディング</li> <li>4. Unit2 part1-part4 リスニング</li> <li>5. Unit2 part5-part7 リーディング</li> <li>6. Unit3 part1-part4 リスニング</li> <li>7. Unit3 part5-part7 リーディング</li> <li>8. Unit1ーUnit3 までの単語、熟語の復習</li> <li>9. Unit4 part1-part4 リスニング</li> <li>10. Unit4 part5-part7 リーディング</li> <li>11. Unit5 part1-part7 リスニング</li> <li>12. Unit5 part5-part7 リーディング</li> <li>13. Unit4ーUnit5 までの単語、熟語の復習</li> <li>14. TOEIC 模擬試験 リスニング</li> <li>15. TOEIC 模擬試験 リーディング</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition II ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEIC 模擬試験</li> <li>2. Unit6 part1-part4 リスニング</li> <li>3. Unit6 part5-part7 リーディング</li> <li>4. Unit7 part1-part4 リスニング</li> <li>5. Unit7 part5-part7 リーディング</li> <li>6. Unit8 part1-part4 リスニング</li> <li>7. Unit8 part5-part7 リーディング</li> <li>8. Unit6ーUnit8 までの単語、熟語の復習</li> <li>9. Unit9 part1-part4 リスニング</li> <li>10. Unit9 part5-part7 リーディング</li> <li>11. Unit10 part1-part7 リスニング</li> <li>12. Unit10 part5-part7 リーディング</li> <li>13. Unit9ーUnit10 までの単語、熟語の復習</li> <li>14. TOEIC 模擬試験 リスニング</li> <li>15. TOEIC 模擬試験 リーディング</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition II ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。</li> <li>・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。</li> <li>・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)</li> </ul>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Unit 1 Self Introduction (自己紹介をする)</li> <li>3. be 動詞・一般動詞</li> <li>4. Unit 2 My Family. My Friends (家族や友人を紹介する)</li> <li>5. 名詞の単数・複数・冠詞・形容詞</li> <li>6. Unit 3 My room (部屋を描写する)</li> <li>7. There 構文・前置詞</li> <li>8. Unit 4 Everyday Activity (スケジュールを説明する)</li> <li>9. 現在形・現在進行形</li> <li>10. Unit 5 Recipes (レシピを書く)</li> <li>11. 他動詞・自動詞</li> <li>12. Unit 6 Introducing My Town (私の町を紹介する)</li> <li>13. 副詞・比較級・最上級</li> <li>14. Unit 7 Asking Questions (質問をする)</li> <li>15. WH 疑問文</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	Composition II ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。</li> <li>・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。</li> <li>・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)</li> </ul>
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 8 Diary (日記を書く)</li> <li>2. Unit 9 Making a Reservation (予約のメールを書く)</li> <li>3. Unit10 Writing a Postcard (旅先からハガキを書く)</li> <li>4. Unit11 Job Hunting (自分のスキルを説明する)</li> <li>5. Unit12 Writing a Letter (フォーマルな手紙を書く)</li> <li>6. Unit13 Giving Advice (アドバイスをする)</li> <li>7. 助動詞 (can/should/must/had better/might/may/could)</li> <li>8. Unit14 Invitation (招待状を書く)</li> <li>9. Unit15 Notice (注意書きを作る)</li> <li>10. Unit16 My History (自分史を書く)</li> <li>11. Unit17 Introducing Japanese Culture (日本の文化を紹介する)</li> <li>12. Unit18 If I were (仮定の話を書く)</li> <li>13. Unit19 Expressing Your Opinion (考えを伝える)</li> <li>14. Unit20 Directions (道案内をする)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	児童英語教育Ⅱ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約4年、その後、AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していく質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与え、卒業時に認定する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語教育について（児童英語教育の現状と今後）</li> <li>2. 言語習得についての基礎知識 1（学習方法の提案）</li> <li>3. 言語習得についての基礎知識 2</li> <li>4. 言語習得についての基礎知識 3</li> <li>5. 児童英語の指導法 1（レッスンプランの必要性和、立て方の基本）</li> <li>6. 児童英語の指導法 2（アクティビティの研究）</li> <li>7. 児童英語の指導法 3（子供の心理・特性の研究：子供と大人の違い）</li> <li>8. 児童英語の指導法 4（発話量の確保、悲しい子供を作らないルール設定の仕方）</li> <li>9. 児童英語の指導法 5（デモンストレーションレッスン課題発表）</li> <li>10. 児童英語の指導法 6（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ）</li> <li>11. 児童英語の指導法 7（教材作り）</li> <li>12. 児童英語の指導法 8（グループデモンストレーション）</li> <li>13. 児童英語の指導法 9（最終発表 *実技試験）</li> <li>14. 児童英語の指導法 10（フィードバック、総評など）</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約4年、その後、AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していける質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童英語の指導法 11（子供の叱り方、誉め方研究）</li> <li>2. 児童英語の指導法 12（子供の興味の対象の研究）</li> <li>3. 児童英語の指導法 13（少人数クラスと大人数クラス）</li> <li>4. 児童英語の指導法 14（モノリンガルクラスとバイリンガルクラス）</li> <li>5. 児童英語の指導法 15（具体的なアクティビティと注意点）</li> <li>6. 児童英語の指導法 16（フォニックスの指導法）</li> <li>7. 児童英語の指導法 17（テキスト以外のカリキュラムの組み方）</li> <li>8. 児童英語の指導法 18（デモンストレーションレッスン課題発表）</li> <li>9. 児童英語の指導法 19（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ）</li> <li>10. 児童英語の指導法 20（グループデモンストレーション）</li> <li>11. 実技試験（最終発表、レッスンプラン提出）</li> <li>12. 実技試験のフィードバック、総評とインターンシップについて</li> <li>13. 教材の選定方法（学習目標・対象年齢・使いやすさ・教育方針・利点欠点など）</li> <li>14. 保護者対応・就職試験対策について</li> <li>15. 後期のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	長野 よしみ（実務経験：(株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	児童英語インストラクター、英語教育関係などへの就職を目指す学生たちがビジネスの現場にて、日常生活でよく使われる表現を正確に言える能力を身につけることを目的とする。 授業の方法としては、英検や TOEIC のテスト対策に備えるため、語彙力の強化も図る。また、英検の二次対策として絵を見てできるだけ多くの英語表現が言えるように練習する。楽しく覚えられるようにペアでジェスチャーなどをして確認作業をする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 日の始まりとして朝、最初にする事</li> <li>2. 朝食を作る</li> <li>3. 外出の表現としてバスに乗る</li> <li>4. 外出の表現としてタクシーに乗る</li> <li>5. 帰宅してから夕食を作る</li> <li>6. インターネットを使う</li> <li>7. 家事の表現として洗濯をする</li> <li>8. 家事の表現としてペットの世話</li> <li>9. 買い物の支払いをする</li> <li>10. 銀行に行く</li> <li>11. メールの送受信</li> <li>12. 携帯電話を使う</li> <li>13. 映画に行く</li> <li>14. コーヒーショップでコーヒーを飲む</li> <li>15. 前期事前テストの実施</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	イラストでわかる日常生活の英語表現
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価：発表の出来 80 点 平常点：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常行動を英語にして訓練すること。（必ず毎日 10 個の表現を口に出して練習すること。）
履修に 当たっての 留意点	ペアワークを多く取り入れるので積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	長野 よしみ（実務経験：(株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語関係などへの就職を目指す学生たちが、朗読の基本技術を習得することによって、「聞き手を意識すること」への重要性に気付いてもらうことを目的とする。聞き手に声がきちんと届いているか、聞き手に内容が正確に伝わっているか、聞き手に「面白い！」と思わせることが出来ているかを常に点検する。聞き手により伝わるように工夫することは、会話、スピーチ、プレゼンテーションでも必要な基礎となり、その結果、「声のトーン」や「間」や「強調」などをコントロール出来る表現が身につく、将来子供に英語の読み聞かせができるように指導する。与えられた課題について、クラスにて発表会を実施し、評価シートに基づき評価する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 朗読トレーニングのための 10 のキーワードを理解する</li> <li>2. ニュース：気候変動と戦うドローン</li> <li>3. ニュース：世界の人口</li> <li>4. ニュース：ロイヤル・ウェディング</li> <li>5. スピーチ：核兵器のない世界を（バラク・オバマ）</li> <li>6. スピーチ：核兵器のない世界を（バラク・オバマ）</li> <li>7. 詩：汽車に乗って（ロバート・ルイス・ステューブン）</li> <li>8. 詩：水仙（ウィリアム・ワーズワース）</li> <li>9. 物語：豆の上のお姫さま（ハンス・クリスチャン・アンデルセン）</li> <li>10. クリスマス特別レッスン：クリスマスキャロルとクリスマスソング</li> <li>11. 物語：一杯のミルク（作者不明）</li> <li>12. 物語：路（むじな）（小泉八雲）</li> <li>13. 後期事前テストの実施</li> <li>14. 物語：手袋を買いに（新美南吉）</li> <li>15. 物語：かぼちやのなかの金色の時間（角田光代）</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英語は朗読でうまくなる！
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価：発表の出来 80 点 平常点：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から意識して人に伝わる英語を話すことを積極的に訓練すること。 （必ず毎日 1 つの話を声に出して自宅で読むことを実施すること。）
履修に 当たっての 留意点	積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。（演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童英語教授法の概要、Q&amp;A</li> <li>2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自己紹介の英語</li> <li>3. 母の日クラフト作成</li> <li>4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、食べ物の英語</li> <li>5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、学校生活の英語</li> <li>6. 父の日クラフト作成</li> <li>7. 手遊び歌、ペットに関する英語</li> <li>8. 手遊び歌、音楽に関する英語</li> <li>9. 手遊び歌、テレビ・エンターテインメントに関する英語</li> <li>10. 手遊び歌、クラブ活動の英語</li> <li>11. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スポーツに関する英語</li> <li>12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す</li> <li>13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す</li> <li>14. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す</li> <li>15. 実技テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。（演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期復習</li> <li>2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仮定法を用いたスピーチ作成</li> <li>3. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スピーチ発表</li> <li>4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、旅行に関する英語</li> <li>5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仕事の中で使う英語</li> <li>6. ハロウィングラフト作成</li> <li>7. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する①</li> <li>8. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する②</li> <li>9. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介①</li> <li>10. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介②</li> <li>11. クリスマスクラフト作成</li> <li>12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り①</li> <li>13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り②、発表</li> <li>14. バレンタインクラフト作成</li> <li>15. 実技テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	近藤 桜花（実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要になります。また、楽しみながらでないと子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Hello Song（練習・発表）／子音の発音 p,b／Two Truth and a Lie</li> <li>2. Seven Steps／子音の発音 c,k,g／Easter Egg 作り</li> <li>3. Are You Sleeping?／子音の発音 t,d／絵しりとり</li> <li>4. ABC Song・Hokey Pokey／子音の発音 f,v／20 Questions</li> <li>5. BINGO／子音の発音 sh,j／BONGO</li> <li>6. Eency Weency Spider／子音の発音 l,r／Bomb Game</li> <li>7. Head, Shoulders, Knees and Toes／子音の発音 s,z,x／Anything Goes Basket</li> <li>8. Here We Go Round the Mulberry Bush／子音の発音 th／Up Down</li> <li>9. London Bridge／子音の発音 h,m,n／Who, What, Where, When</li> <li>10. Pat-a-Cake, Pat-a-Cake／子音の発音 tr／動物の鳴き声</li> <li>11. Hickory, Dickory, Dock／子音の発音 dr／Explain Game</li> <li>12. The Muffin Man／子音の発音 w,y／しりとり Bomb Game</li> <li>13. The Farmer in the Dell／母音の発音 a,e／What time is it Mr. Wolf?</li> <li>14. Twinkle, Twinkle, Little Star／母音の発音 i,o,u／Get the Cards</li> <li>15. 発表</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育Ⅱ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	近藤 桜花（実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとて重要になります。また、楽しみながらでない子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Old Macdonald Had a Farm/Shopping List（クラフト）</li> <li>2. If You're Happy and You Know It/Darts</li> <li>3. Under the Spreading Chestnut Tree/What's Missing?</li> <li>4. Sunday, Monday, Tuesday/Hanged Man</li> <li>5. Mary Had a Little Lamb/Vocab Game</li> <li>6. Humpty Dumpty/Who am I?</li> <li>7. Deck the Halls/Snake Game</li> <li>8. Jingle Bells/Don't say 21</li> <li>9. Joy to the World/Bamboo Shoot Game</li> <li>10. Silent night/Quiz</li> <li>11. We Wish You a Merry Christmas/Shouting Game</li> <li>12. Christmas Lesson</li> <li>13. 発表</li> <li>14. グループで発表（先生バージョン）</li> <li>15. グループで発表（先生バージョン）</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育Ⅱ⑤（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	浅井 美保（実務経験：学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもに英語を教えるための 3 つの力とは／品詞と文型</li> <li>2. 名詞・冠詞・代名詞／語彙力養成</li> <li>3. 動詞・時制／パラフレーズ力養成</li> <li>4. 形容詞／副詞／身のまわりの単語と表現</li> <li>5. 前置詞／接続詞／ローマ字について</li> <li>6. 品詞と文型まとめ</li> <li>7. 季節の文化学習(春)／語彙力・パラフレーズ力演習</li> <li>8. 子どもが受験する英語の試験への挑戦／フォニックスについて</li> <li>9. 英検スピーキング試験指導について／フォニックス演習</li> <li>10. 季節の文化学習(夏)／前期試験前リスニング演習</li> <li>11. リスニング(フォニックスルール)テスト／前期試験前演習</li> <li>12. 前期試験フィードバック</li> <li>13. 前期に学習した基礎文法の演習</li> <li>14. 英検ライティング試験指導について</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編／mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考)／子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育Ⅱ⑤（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	浅井 美保（実務経験：学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不定詞／状況設定力養成</li> <li>2. 季節の文化体験学習(秋)／状況設定力演習</li> <li>3. 動名詞／身のまわりの単語と表現</li> <li>4. 分詞・関係詞／英検ライティング指導演習</li> <li>5. 助動詞・仮定法／フォニックス演習</li> <li>6. 子どもが受験する英語の試験への挑戦／フォニックス演習</li> <li>7. 語彙力・パラフレーズ力演習／後期試験前リスニング演習</li> <li>8. リスニング(フォニックスルール)テスト／後期試験前演習</li> <li>9. 後期試験フィードバック</li> <li>10. 季節の文化体験学習(冬)／状況設定力演習</li> <li>11. 子どもに英語を教えるための 3 つの力復習／英検スピーキング試験指導演習</li> <li>12. 後期に学習した基礎文法演習</li> <li>13. 子どもが受験する英語の試験への挑戦</li> <li>14. スピーチ／模擬授業演習</li> <li>15. 一年間の総合演習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編／mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考)／子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育Ⅱ⑥（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでないと子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 1 Greetings / Hello Song / <u>Feelings</u> / Two Truths and a Lie</li> <li>2. Unit 1 Greetings / Seven Steps / <u>Numbers</u> / Easter Eggs</li> <li>3. Unit 2 Basics / Under the Spreading Chestnut Tree / <u>Colors</u> / Touch It</li> <li>4. Unit 2 Basics / Row, Row, Row Your Boat / <u>Weather</u> / Bomb Game</li> <li>5. Unit 3 Q&amp;A サークルタイム / BINGO / <u>Wild Animals</u> / BINGO</li> <li>6. Unit 3 Q&amp;A サークルタイム / The ABC Song / <u>The Alphabet</u> / Spelling Game</li> <li>7. Unit 3 Q&amp;A サークルタイム / London Bridge / <u>Fruits</u> / Anything Goes Basket</li> <li>8. Unit 4 Main Topics / Head, Shoulders, Knees and Toes / <u>Body Parts</u></li> <li>9. Unit 4 Main Topics / <u>Days of the Week</u> / Months of the Year / Seasons</li> <li>10. Review</li> <li>11. Presentation / Role-Playing</li> <li>12. Unit 5 Extra Activities / Twinkle, Twinkle, Little Star / <u>Outdoors</u> / Bomb Game</li> <li>13. Unit 5 Extra Activities / If you're Happy... / <u>Shapes</u> / Charades</li> <li>14. Unit 6 Fillers / Marry Has a Little Lamb / <u>Clothes</u> / Get the Card</li> <li>15. Unit 6 Fillers / Old Macdonald / <u>Farm Animals</u> / Put the Ball in the Cup</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選 / Flashcards
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームなどを楽しんで参加してください。</p> <p>Try to come up with original games and activities.</p>

科目名	児童英語教育Ⅱ⑥（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでないと子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 6 Likes and Dislikes 好き嫌い / Do Re Mi / Darts</li> <li>2. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Hokey Pokey / Explain Game</li> <li>3. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Ten Little Indians / Shopping Game</li> <li>4. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Humpty Dumpty / What's Missing?</li> <li>5. Unit 8 Apologizing 謝罪 / Halloween Vocabularies / Hangman</li> <li>6. Unit 8 Apologizing 謝罪 / The Wheels on the Bus / Vocabulary Game</li> <li>7. Unit 9 Talking about Food 食べ物 / The Finger Family / Who am I?</li> <li>8. Unit 10 Talking about Food 食べ物 / Little Peter Rabbit / Snake Game</li> <li>9. Unit 11 Talking about Money お金 / A whole New World / Don't Say 21</li> <li>10. Unit 10 Talking about Money お金 / A Whole New World / Bamboo Shoot Game</li> <li>11. Christmas Vocabulary / Song / Quiz</li> <li>12. Review</li> <li>13. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World / Shouting Game</li> <li>14. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World</li> <li>15. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。 ゲームなどを楽しんで参加してください。

科目名	Discussion & Sales Skills II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	議論し、相手を論破することだけを目的とするディスカッションではなく、日常生活で学生同士が話すような部活や SNS やネットショッピングなど、ごく身近なトピックスをテーマに、自分の意見を論理的に英語で発信できることを目的とします。多彩なペアワークとグループワークを通し、多面的な思考からクリティカル・シンキングと発信力を高めると同時に、自然な会話表現なども取り入れた創意にあふれるディスカッションを目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Western-style Hotel vs Japanese Inn ①</li> <li>2. Western-style Hotel vs Japanese Inn ②</li> <li>3. Western-style Hotel vs Japanese Inn ③</li> <li>4. Review ①</li> <li>5. e-Learning ①</li> <li>6. e-Learning ②</li> <li>7. e-Learning ③</li> <li>8. Review ②</li> <li>9. Clubs and Circles ①</li> <li>10. Clubs and Circles ②</li> <li>11. Clubs and Circles ③</li> <li>12. Review ③</li> <li>13. Social Networking ①</li> <li>14. Social Networking ②</li> <li>15. Discussion Practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussions
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Discussion & Sales Skills II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	議論し、相手を論破することだけを目的とするディスカッションではなく、日常生活で学生同士が話すような部活や SNS やネットショッピングなど、ごく身近なトピックスをテーマに、自分の意見を論理的に英語で発信できることを目的とします。多彩なペアワークとグループワークを通し、多面的な思考からクリティカル・シンキングと発信力を高めると同時に、自然な会話表現なども取り入れた創意にあふれるディスカッションを目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Big City vs Small Town ①</li> <li>2. Big City vs Small Town ②</li> <li>3. Big City vs Small Town ③</li> <li>4. Review ①</li> <li>5. Online Shopping ①</li> <li>6. Online Shopping ②</li> <li>7. Online Shopping ③</li> <li>8. Review ②</li> <li>9. Students Working Part Time ①</li> <li>10. Students Working Part Time ②</li> <li>11. Students Working Part Time ③</li> <li>12. Review ③</li> <li>13. Discussion Practice ①</li> <li>14. Discussion Practice ②</li> <li>15. Discussion Practice ③</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussions
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Discussion & Sales Skills II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>今までに学んだ英語の基礎を取り入れ実践で活用していきます。</p> <p>話すことに苦手意識を持つのではなく、話せることで英語の楽しさを感じて欲しいと思います。役立つ単語や使い方、気持ちの伝え方を覚え、スムーズにコミュニケーションが取れることを目指します。(講義)</p> <p>ロールプレイング、ペアワーク&amp;グループワークを通し、発信力を高め、自然に会話できる環境を作ります。</p> <p>集中力を保つために英語に関する経験談やグループアクティビティを取り入れて授業を進めます。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業概要と評価方法の説明、Discussion &amp; Sales Skills II について、自己紹介、挨拶</li> <li>2. Unit-1. Welcome to coffee shop discussions !</li> <li>3. Unit-1. Welcome to coffee shop discussions ! (演習とまとめ)</li> <li>4. Unit-2. Western-style Hotel vs Japanese Inn-Part 1</li> <li>5. Unit-2. Western-style Hotel vs Japanese Inn-Part 1 (演習とまとめ)</li> <li>6. Unit-3. Western-style Hotel vs Japanese Inn-Part 2</li> <li>7. Unit-3. Western-style Hotel vs Japanese Inn-Part 2 (演習とまとめ)</li> <li>8. Unit-4. e-learning. Part1</li> <li>9. Unit-4. e-learning. Part1 (演習とまとめ)</li> <li>10. Unit-5. e-learning. Part2</li> <li>11. Unit-5. e-learning. Part2 (演習とまとめ)</li> <li>12. Unit-6. Clubs and Circles-Part 1</li> <li>13. Unit-6. Clubs and Circles-Part 1 (演習とまとめ)</li> <li>14. Unit-7. Clubs and Circles-Part 2</li> <li>15. Unit-7. Clubs and Circles-Part 2 (演習とまとめ)</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussion (南雲堂)
成績評価方法 及び 基準	<p>期末試験 (実技) : 80 点、授業内での演習 : 20 点、計 100 点満点</p> <p>60 点以上を合格とします。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	英語で映画やドラマを観るなど積極的に英語を聞き、表現の仕方を学ぶ。
履修に 当たっての 留意点	<p>意識を高く持ち授業に参加することは勿論、前向きに学習する事。</p> <p>演習では積極的に発言してください。</p>

科目名	Discussion & Sales Skills II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期で学んだ会話のレベルを更に上げ実践で活用していきます。</p> <p>後期では様々なシーンにも対応出来、スムーズにコミュニケーションが取れることを目指します。(講義)</p> <p>ロールプレイング、ペアワーク&amp;グループワークを充実させ、積極的に会話できる環境を作ります。</p> <p>集中力を保つために英語に関する経験談やグループアクティビティを取り入れて授業を進めます。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit-8 Social Networking Part 1</li> <li>2. Unit-9 Social Networking Part 2</li> <li>3. Social Networking (演習とまとめ)</li> <li>4. Unit-10 Big city vs Small town Part 1</li> <li>5. Unit-11 Big city vs Small town Part 2</li> <li>6. Big city vs Small town (演習とまとめ)</li> <li>7. Unit-12 Online shopping Part 1</li> <li>8. Unit-13 Online shopping Part 2</li> <li>9. Online shopping (演習とまとめ)</li> <li>10. Unit-14 Students working PartTime-Part1</li> <li>11. Unit-15 Students working PartTime-Part2</li> <li>12. Students working PartTime (演習とまとめ)</li> <li>13. 前期のまとめ</li> <li>14. 後期のまとめ</li> <li>15. 1 年間のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussion (南雲堂)
成績評価方法 及び 基準	<p>期末試験 (実技): 80 点、授業内での演習: 20 点、計 100 点満点</p> <p>60 点以上を合格とします。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	英語で映画やドラマを観るなど積極的に英語を聞き、表現の仕方を学ぶ。
履修に 当たっての 留意点	<p>意識を高く持ち授業に参加することは勿論、前向きに学習する事。</p> <p>演習では積極的に発言してください。</p>

科目名	Tourism II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	村松 和子 (実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、日本の国際化が進む中で観光分野において外国語、特に英語による業務が増えており、観光業界で英語が使える人材の需要が高まっています。そのニーズに応えるために必要なスキルを、ステップアップ観光英語のテキストで身につけます。また、将来観光の仕事に就くためだけでなく、自分自身のプライベートやスキルアップを目指し、「国際人」として活躍できる人格を学ぶ時間も設けます。前期・後期ごとに、ターゲットを設け、小テスト及び本テストにて、評価していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介 / 授業の流れ / 本授業での学習意義・留意点の確認 (Discussion)</li> <li>2. Travel Information 自己紹介と旅行に関する案内 (前半 TASK1~3)</li> <li>3. Travel Information 旅行に関する案内 (前半 review) (後半 TASK4)</li> <li>4. At the Air Port (前半 TASK1~3) 空港で使われる英語の理解力を高める</li> <li>5. At the Air Port (前半 review) (後半 TASK4) デモンストレーション</li> <li>6. Asking and Giving Directions (前半 TASK1~3)</li> <li>7. Asking and Giving Directions (前半 review) (後半 TASK4) 実践練習</li> <li>8. Hotel (前半 TASK1~3) 及びこれまでの確認テスト実施予定</li> <li>9. Hotel (前半 review) 及び (後半 TASK4) デモンストレーション</li> <li>10. Dining (前半 TASK1~3) レストランにおける英語表現を学ぶ</li> <li>11. Dining (前半 review) 及び (後半 TASK4)</li> <li>12. Asking and Giving Directions (前半 TASK1~3) 道案内・方向を聞く</li> <li>13. Asking and Giving Directions (前半 review) 及び (後半 TASK4)</li> <li>14. これまでの確認テスト実施予定 Buses and Trains (前半 TASK1)</li> <li>15. Buses and Trains (TASK1 review) + 試験出題内容の確認</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	ENGLISH FOR TOURISM ステップアップ観光英語
成績評価方法 及び 基準	テキスト内の演習問題。小テスト(筆記・リスニング)の出来具合による評価。 100 点満点中 60 点以上を合格とする。(小テストは 30 点~50 点満点に設定予定)
授業時間外 に必要な 学修内容	繰り返しの発話練習。
履修に 当たっての 留意点	授業中は、常に英語を使うよう心掛ける。よく使うフレーズはさらで言えるように日頃から練習する習慣をつける必要がある。失敗を恐れない。

科目名	Tourism II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	村松 和子 (実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、日本の国際化が進む中で観光分野において外国語、特に英語による業務が増えており、観光業界で英語が使える人材の需要が高まっています。そのニーズに応えるために必要なスキルを、ステップアップ観光英語のテキストで身につけます。また、将来観光の仕事に就くためだけでなく、自分自身のプライベートやスキルアップを目指し、「国際人」として活躍できる人格を学ぶ時間も設けます。前期・後期ごとに、ターゲットを設け、小テスト及び本テストにて、評価していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Mailing and Money Exchange (前半 TASK1～3) 為替交換の方法</li> <li>2. Mailing and Money Exchange (後半 TASK4) + 前半の Review</li> <li>3. Sightseeing(1) (前半 TASK1～3) 観光方法と手引き</li> <li>4. Sightseeing(1) (後半 TASK4) 観光の方法と手引き + 前半の Review</li> <li>5. 4 週分の内容の確認 + 表現・語彙力チェック①</li> <li>6. Sightseeing(2) (前半 TASK1～3) 観光における注意点</li> <li>7. Sightseeing(2) (前半 TASK4) + 前半の Review 実践練習を含む</li> <li>8. Problems and Complaints (前半 TASK1～3) 問題と苦情について</li> <li>9. Problems and Complaints (後半 TASK4) 実践演習 前半の Review</li> <li>10. 4 週分の内容の確認+表現・語彙力チェック②</li> <li>11. Tour Conductor Duties (前半 TASK1～3) ツアコンダクターについて</li> <li>12. Tour Conductor Duties (後半 TASK4) + 前半の Review 問題提起</li> <li>13. Sightseeing in Japan (TASK1～4) + 意見交換・実践演習</li> <li>14. これまでの復習+確認 (UNIT1～)</li> <li>15. 後期試験へ向けた内容確認と演習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	ENGLISH FOR TOURISM ステップアップ観光英語
成績評価方法 及び 基準	テキスト内の演習問題。小テスト(筆記・リスニング)の出来具合による評価。 100 点満点中 60 点以上を合格とする。(小テストは 30 点～50 点満点に設定予定)
授業時間外 に必要な 学修内容	繰り返しの発話練習。
履修に 当たっての 留意点	授業中は、常に英語を使うよう心掛ける。よく使うフレーズはさらで言えるように日頃から練習する習慣をつける必要がある。失敗を恐れない。

科目名	Tourism II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必須・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グローバル化した社会で、より多くの外国人とのコミュニケーションが必要に迫られています。その一つとして海外旅行に出かける人々、また、海外から日本を訪れる旅行者の数が年々増えて、外国人と接する機会が広がっています。 旅行や観光の際の様々な場面での専門的な用語、言い回しなどを学びます。 英検 2 級レベルを基礎に、ホテル業務、出入国、観光などの英語を学びます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit1 Travel Information リスニング</li> <li>2. Unit1 Travel Information リーディング 単語</li> <li>3. Unit2 At the Air port リスニング</li> <li>4. Unit2 At the Air port リーディング 単語</li> <li>5. Unit3 Hotel リスニング</li> <li>6. Unit3 Hotel リーディング 単語</li> <li>7. Unit4 Dining リスニング</li> <li>8. Unit4 Dining リーディング 単語</li> <li>9. 空港、ホテル英語の単語習得</li> <li>10. Unit5 Asking and Giving Directions リスニング</li> <li>11. Unit5 Asking and Giving Directions リーディング 単語</li> <li>12. Unit6 Buses and Trains リスニング</li> <li>13. Unit6 Buses and Trains リーディング 単語</li> <li>14. Unit1 から Unit6 までの復習</li> <li>15. Unit1 から Unit6 までの復習 単語テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	ステップアップ観光英語
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、フレーズ 20 点、学年 (前期、後期) 筆記、リスニングテスト 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から英会話に興味を持ち、色々な場面を意識して必要な単語、フレーズを覚えて言葉に出して、コミュニケーション力を上げる努力をしてください。
履修に 当たっての 留意点	ペアーワークに積極的に参加してください。 テキストの単語などは必ず習得してください。

科目名	Tourism II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必須・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グローバル化した社会で、より多くの外国人とのコミュニケーションが必要に迫られています。その一つとして海外旅行に出かける人々、また、海外から日本を訪れる旅行者の数が年々増えて、外国人と接する機会が広がっています。 旅行や観光の際の様々な場面での専門的な用語、言い回しなどを学びます。 英検 2 級レベルを基礎に、ホテル業務、出入国、観光などの英語を学びます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit7 Mailing and Money Exchange リスニング</li> <li>2. Unit7 Mailing and Money Exchange リーディング 単語</li> <li>3. Unit8 Sightseeing (1) リスニング</li> <li>4. Unit8 Sightseeing (1) リーディング 単語</li> <li>5. Unit9 Sightseeing (2) リスニング</li> <li>6. Unit9 Sightseeing (2) リーディング 単語</li> <li>7. Sightseeing の単語習得</li> <li>8. Unit10 Problems and Complaints リスニング</li> <li>9. Unit10 Problems and Complaints リーディング 単語</li> <li>10. Unit11 Tour Conductor Duties リスニング</li> <li>11. Unit11 Tour Conductor Duties リーディング 単語</li> <li>12. Unit12 Sightseeing in Japan リスニング</li> <li>13. Unit12 Sightseeing in Japan リーディング 単語</li> <li>14. Unit7 から Unit12 までの復習</li> <li>15. Unit7 から Unit12 までの復習 単語テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	ステップアップ観光英語
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、フレーズ 20 点、学年 (前期、後期) 筆記、リスニングテスト 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から英会話に興味を持ち、色々な場面を意識して必要な単語、フレーズを覚えて言葉に出して、コミュニケーション力を上げる努力をしてください。
履修に 当たっての 留意点	ペアーワークに積極的に参加してください。 テキストの単語などは必ず習得してください。

科目名	Hotel Management (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
担当教官	伊藤 崇史 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 24 年間、管理業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホスピタリティ産業の中核に位置するホテル運営において、重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、「収入」・「費用」・「利益」等社会人として必要な経営への考察力を高めていきます。授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 第三次産業における宿泊産業の位置づけ</li> <li>3. 環境変化とホテル業の役割</li> <li>4. ホテル業の意義と地域開発</li> <li>5. ホテルが抱える課題</li> <li>6. ホテル業の今後の動向・将来性</li> <li>7. ホテルが抱える課題と今後の動向</li> <li>8. ホテルの経営・事業資源</li> <li>9. ホテルの経営形態と事業計画</li> <li>10. ホテルの組織と人事</li> <li>11. ホテルの職務分類と職掌</li> <li>12. 人事・労務管理上の課題</li> <li>13. 財務会計と管理会計</li> <li>14. ホテルの収入と費用</li> <li>15. 前期まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	Hotel Management (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	伊藤 崇史 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 24 年間、管理業務に携わる)
学科・学年	英語本科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホスピタリティ産業の中核に位置するホテル運営において、重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、「収入」・「費用」・「利益」等社会人として必要な経営への考察力を高めていきます。 授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 商品の品質管理</li> <li>2. 顧客管理と顧客の組織化</li> <li>3. 商品企画と広告宣伝</li> <li>4. 販売促進</li> <li>5. 売掛金の管理</li> <li>6. テナント管理</li> <li>7. 仕入管理・施設管理</li> <li>8. 防災・事故管理・防犯管理</li> <li>9. 食中毒・安全衛生・コンプライン処理</li> <li>10. 後期まとめ</li> <li>11. 地域観光産業について考察①</li> <li>12. 地域観光産業について考察②</li> <li>13. 理想のホテル像について考察①</li> <li>14. 理想のホテル像について考察②</li> <li>15. 観光産業の今後の課題</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	一般教養 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	「一般常識」と「時事」の問題を中心に、国語・数学・社会・理科・英語の各分野の基礎学力を修得することが目的です。就職試験で実際に出題された問題を解き、内容を詳しく解説していきます。 確実に知識を身に付けるため、毎回チェックテストを行い、まとめとして小テストも実施します。 また文章力をアップさせるために小論文を書き、それを発表する場も設けます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業概要と自己紹介</li> <li>2. 一般常識のテスト (学生の基礎学力を測る)</li> <li>3. 年齢算・仕事算</li> <li>4. 一次関数・二次関数</li> <li>5. 図形・確率</li> <li>6. 小テスト①</li> <li>7. 割合と場合の数</li> <li>8. 集合・図の読み方</li> <li>9. 推論 1</li> <li>10. 推論 2</li> <li>11. 小テスト②</li> <li>12. 日本の国会・内閣・政党</li> <li>13. 日本の憲法・法律・裁判</li> <li>14. 小テスト③</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15 点、小テスト②15 点、小テスト③15 点、期末テスト 55 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	各小テストで 10 点以下の学生に、課題を出します。
履修に 当たっての 留意点	日頃から、新聞や本を読むことを心掛けてください。

科目名	一般教養 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続き、国語・数学・社会・理科・英語の各分野の基礎知識を修得します。また話題のニュースや時事問題を取り上げ、それに関するグループディスカッションを行い、発言力を向上させます。</p> <p>また、2年後に留学予定であることを踏まえて、国際状況を把握し、グローバル化する社会での日本のあり方を考えていきます。更に自分の考えを小論文にまとめ、発表し、自己再確認を促進させます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 四字熟語・慣用句</li> <li>2. ことわざ・同意語・反意語</li> <li>3. 日本の暦と二十四節気</li> <li>4. 小テスト①</li> <li>5. 国文法 1</li> <li>6. 国文法 2</li> <li>7. 文章整理と短文穴埋め</li> <li>8. 小テスト②</li> <li>9. ロシアと EU</li> <li>10. アメリカと中国の行方</li> <li>11. アメリカ・韓国・日本 (同盟国)</li> <li>12. アジアの中の日本</li> <li>13. 世界の中の日本</li> <li>14. 小論文 (テーマ：未定)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15点、小テスト②15点、作文 15点、期末テスト 55点、計 100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	各小テストで 10 点以下の学生に、課題を出します。
履修に 当たっての 留意点	テレビやネット上で流れているニュースを、日頃からチェックしてください。

科目名	コンピュータリテラシー I (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。          学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。          また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Word、動画作成</li> <li>2. Word、動画作成</li> <li>3. Word、動画作成</li> <li>4. Word、動画作成</li> <li>5. Word、動画作成</li> <li>6. Word、動画作成</li> <li>7. Word、動画作成</li> <li>8. Word、動画作成</li> <li>9. Excel、動画作成</li> <li>10. Excel、動画作成</li> <li>11. Excel、動画作成</li> <li>12. Excel、動画作成</li> <li>13. Excel、動画作成</li> <li>14. 動画視聴・課題テスト提出</li> <li>15. 動画視聴・課題テスト提出</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	課題テスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	コンピュータリテラシー I (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。          学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。          また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Excel、動画作成</li> <li>2. Excel、動画作成</li> <li>3. Excel、動画作成</li> <li>4. Excel、動画作成</li> <li>5. Excel、動画作成</li> <li>6. Excel、動画作成</li> <li>7. PowerPoint、動画作成</li> <li>8. PowerPoint、動画作成</li> <li>9. PowerPoint、動画作成</li> <li>10. PowerPoint、動画作成</li> <li>11. PowerPoint、動画作成</li> <li>12. PowerPoint、動画作成</li> <li>13. PowerPoint、動画作成</li> <li>14. 動画視聴・課題テスト提出</li> <li>15. 動画視聴・課題テスト提出</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	課題テスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	Career Studies I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their careers. To achieve this students will study about various careers in Japan and abroad. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Chapter 1</li> <li>3. Career assignment 1</li> <li>4. Chapter 2</li> <li>5. Career assignment 2</li> <li>6. Chapter 3</li> <li>7. Career assignment 3</li> <li>8. Chapter 4</li> <li>9. Career assignment 4 Japanese culture part 1</li> <li>10. Career assignment 5 Japanese culture part 2</li> <li>11. Chapter 5</li> <li>12. Career assignment 6</li> <li>13. Chapter 6</li> <li>14. Career assignment 7</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	A Passport for Studying Abroad (海外留学へのパスポート)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Career Studies I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their careers. To achieve this students will study about various careers in Japan and abroad. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back and syllabus review.</li> <li>2. Chapter 11</li> <li>3. Career assignment 8</li> <li>4. Chapter 12</li> <li>5. Career assignment 9</li> <li>6. Chapter 13</li> <li>7. Career assignment 10</li> <li>8. Chapter 14</li> <li>9. Career assignment 11 Japanese culture part 1</li> <li>10. Career assignment 12 Japanese culture part 2</li> <li>11. Chapter 15</li> <li>12. Career assignment 13</li> <li>13. Chapter 16</li> <li>14. Career assignment 14</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	A Passport for Studying Abroad (海外留学へのパスポート)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. In the Middle of Nowhere① 17. In the Middle of Nowhere② 18. Blackmail① 19. Blackmail② 20. Review① 21. Home Sweet Home① 22. Home Sweet Home② 23. Negotiations① 24. Negotiations② 25. Review② 26. Visiting Cloutier① 27. Visiting Cloutier② 28. At Alfie's Place① 29. At Alfie's Place② 30. Review③	
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン : ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)	
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする	
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる時間をもつ	
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと	

科目名	Communication Practice I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. David in a Trip①</li> <li>2. David in a Trip②</li> <li>3. Confrontation①</li> <li>4. Confrontation②</li> <li>5. Review①</li> <li>6. Digging a Grave①</li> <li>7. Digging a Grave②</li> <li>8. Another Confrontation①</li> <li>9. Another Confrontation②</li> <li>10. Review②</li> <li>11. Great, Now We're Trapped①</li> <li>12. Great, Now We're Trapped②</li> <li>13. It's Up to You, David①</li> <li>14. It's Up to You, David②</li> <li>15. Review③</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)	
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする	
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる時間をもつ	
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと	

科目名	Communication Practice I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus</li> <li>2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus</li> <li>2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and possibly a written examination in class.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ④ (前期 30 時間(90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I の前期の講義では、書かれている内容を正確に理解する力をつけること、読み取った内容をまとめ、自分の言葉で発信できるようになることを目標とします。ミステリーを題材とした物語を読み、それに関連した問題を解きながら物語への理解を深めます。またその中から役立つ表現を見つけ、学ぶことで使える語彙やセンテンスを増やします。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Unit1 動名詞や to 不定詞：好みを表す表現</li> <li>3. Unit1 提案を表す文</li> <li>4. Unit2 be going to や will、現在進行形：未来の表現</li> <li>5. Unit2 所有代名詞</li> <li>6. Unit3 現在形を含む文：スケジュール</li> <li>7. Unit3 現在形を含む文：習慣的行動</li> <li>8. まとめ</li> <li>9. Unit4 may/could：許可と可能性</li> <li>10. Unit4 shall：丁寧な申し出と提案</li> <li>11. Unit5 肯定文の have to と must</li> <li>12. Unit5 不定代名詞</li> <li>13. Unit6 現在完了形と過去形の対比</li> <li>14. Unit6 can と could の対比</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice I ④ (後期 30 時間(90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I の後期は、前期に引き続き、ミステリーを題材とした物語を読み、問題を解くことで理解を深めます。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。また、前期の講義を通して身につけた英語の基礎力を活用し、書いてある内容を理解できること、さらに、学んだ文法などを用いて自身の考えを表現できるようになることを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Unit7 現在進行形の状態動詞、可算名詞と不可算名詞</li> <li>3. Unit7 How many…?や How much…? を含む文</li> <li>4. Unit8 過去進行形を含む文</li> <li>5. Unit8 過去進行形と過去形が共に使われる文</li> <li>6. Unit9 受動態を含む文①</li> <li>7. Unit9 受動態を含む文②</li> <li>8. まとめ</li> <li>9. Unit10 副詞</li> <li>10. Unit10 比較を含む文</li> <li>11. Unit11 付加疑問文</li> <li>12. Unit11 wh 疑問文</li> <li>13. Unit12 関係節を含む文</li> <li>14. Unit12 when を含む文</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>3. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 speaking activity and role play</li> <li>4. Unit 8 Confrontation 8-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>5. Unit 8 Confrontation 8-1 speaking activity and role play</li> <li>6. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>7. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 speaking activity and role play</li> <li>8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play</li> <li>10. Unit 11 Great, Now We're Trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>11. Unit 11 Great, Now We're Trapped 11-1 speaking activity and role play</li> <li>12. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 words and phrases, script of the scene</li> <li>13. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 speaking activity and role play</li> <li>14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Verbs of preference (In the Middle of Nowhere)</li> <li>2. How about, Why don't, should: suggestions (In the Middle of Nowhere)</li> <li>3. Be going to: future (Blackmail)</li> <li>4. Will: future (Blackmail)</li> <li>5. Present continuous: future (Blackmail)</li> <li>6. Possessive pronouns (Blackmail)</li> <li>7. Present simple: schedules and habitual activities (Home Sweet Home)</li> <li>8. May/ Could: permission and possibility (Negotiations)</li> <li>9. Shall I/ Shall we: polite offer and suggestions (Negotiations)</li> <li>10. Have/ Has to and must in positive sentences (Visiting Cloutier)</li> <li>11. Don't have to vs. must not/ mustn't (Visiting Cloutier)</li> <li>12. Someone/ Something, etc. (Visiting Cloutier)</li> <li>13. Present perfect vs. past simple (At Alfie's Place)</li> <li>14. Can vs. could (At Alfie's Place)</li> <li>15. Review</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Communication Practice I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. State verbs with present continuous forms (David in a Trap)</li> <li>2. Countable and uncountable nouns (David in a Trap)</li> <li>3. How many or How much (David in a Trap)</li> <li>4. Past continuous (Confrontation)</li> <li>5. Using past continuous and past simple together (Confrontation)</li> <li>6. Passive voice (Digging a Grave)</li> <li>7. Adverbs (Another Confrontation)</li> <li>8. Comparatives (Another Confrontation)</li> <li>9. Superlatives (Another Confrontation)</li> <li>10. Questions tags (Great, Now We're Trapped)</li> <li>11. Wh-question words (Great, Now We're Trapped)</li> <li>12. Relative clauses (It's Up to You, David)</li> <li>13. When + present simple, present continuous (It's Up to You, David)</li> <li>14. Review</li> <li>15. Discussion practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service English I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。 (写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明)</li> <li>2. Unit 1 Making connections : Grammar, Vocabulary</li> <li>3. Unit 1 Making connections : Work skills</li> <li>4. Unit 1 Making connections : Functions</li> <li>5. Unit 2 International design : Grammar, Vocabulary</li> <li>6. Unit 2 International design : Work skills</li> <li>7. Unit 2 International design : Functions</li> <li>8. Unit 3 Future lifestyles : Grammar, Vocabulary</li> <li>9. Unit 3 Future lifestyles : Work skills</li> <li>10. Unit 3 Future lifestyles : Functions</li> <li>11. Unit 4 Heritage : Grammar, Vocabulary</li> <li>12. Unit 4 Heritage : Work skills</li> <li>13. Unit 4 Heritage : Functions</li> <li>14. Unit 5 Fashion and Function : Grammar, Vocabulary</li> <li>15. Unit 5 Fashion and Function : Work skills</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 <sup>RD</sup> EDITION INTERMEDIATE Student' s Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Hospitality Service English I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。 (写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 5 Fashion and Function : Functions</li> <li>2. Unit 6 Using innovation : Grammar, Vocabulary</li> <li>3. Unit 6 Using innovation : Work skills</li> <li>4. Unit 6 Using innovation : Functions</li> <li>5. Unit 7 Work styles and careers : Grammar, Vocabulary</li> <li>6. Unit 7 Work styles and careers : Work skills</li> <li>7. Unit 7 Work styles and careers : Functions</li> <li>8. Unit 8 Processes : Grammar, Vocabulary</li> <li>9. Unit 8 Processes : Work skills</li> <li>10. Unit 8 Processes : Functions</li> <li>11. Unit 9 The business of sport : Grammar, Vocabulary</li> <li>12. Unit 9 The business of sport : Work skills</li> <li>13. Unit 9 The business of sport : Functions</li> <li>14. Unit10 Great partnership : Grammar, Vocabulary</li> <li>15. Unit10 Great partnership : Work skills, Functions</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 <sup>RD</sup> EDITION INTERMEDIATE Student' s Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Hospitality Service English I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 1</li> <li>7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 2</li> <li>10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 3</li> <li>13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review)</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back and syllabus review.</li> <li>2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 4</li> <li>7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 5</li> <li>10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 6</li> <li>13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review)</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 <b>GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION</b> 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介 テキストの説明、趣旨</li> <li>2. Unit1 Making connections Grammar</li> <li>3. Unit1 Making connections Vocabulary</li> <li>4. Unit1 Making connections Work skills, Functions</li> <li>5. Unit2 International design Grammar</li> <li>6. Unit2 International design Vocabulary</li> <li>7. Unit2 International design Work skills, Functions</li> <li>8. Unit3 Future lifestyle Grammar</li> <li>9. Unit3 Future lifestyle Vocabulary</li> <li>10. Unit3 Future lifestyle Work skills, Functions</li> <li>11. Unit4 Heritage Grammar</li> <li>12. Unit4 Heritage Vocabulary</li> <li>13. Unit4 Heritage Work skills, Functions</li> <li>14. Unit5 Fashion and function Grammar</li> <li>15. Unit5 Fashion and function Vocabulary</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3 <sup>rd</sup> Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English programなどを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験 : 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 <b>GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION</b> 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit5 Fashion and function Work skills, Function</li> <li>2. Unit6 Using innovation Grammar</li> <li>3. Unit6 Using innovation Vocabulary</li> <li>4. Unit6 Using innovation Work skills, Functions</li> <li>5. Unit7 Work styles and careers Grammar</li> <li>6. Unit7 Work styles and careers Vocabulary</li> <li>7. Unit7 Work styles and careers Work skills, Functions</li> <li>8. Unit8 Processes Grammar</li> <li>9. Unit8 Processes Vocabulary</li> <li>10. Unit8 Processes Work skills, Functions</li> <li>11. Unit9 The business of sport Grammar</li> <li>12. Unit9 The business of sport Vocabulary</li> <li>13. Unit9 The business of sport Work skills, Functions</li> <li>14. Unit10 Great partnerships Gramma, Vocabulary</li> <li>15. Unit10 Great partnerships Work skills, Functions</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3 <sup>rd</sup> Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English program などを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。</li> <li>・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。</li> </ul> <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。(講義・演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (授業の進め方、テキストについて)</li> <li>2. Unit 1 Making connections (現在形)</li> <li>3. Networking</li> <li>4. Unit 2 International design (過去形)</li> <li>5. Team meeting</li> <li>6. Unit 3 Future lifestyle (will/may/might/be likely/possible)</li> <li>7. Email</li> <li>8. Unit 4 Heritage (比較級)</li> <li>9. Presentation</li> <li>10. Unit 5 Fashion and function( have to /must/need to/can)</li> <li>11. Giving advice and suggestions</li> <li>12. Unit 6 Using innovation (過去完了形)</li> <li>13. Describing Problems</li> <li>14. Unit 7 Work Styles and careers</li> <li>15. 前期末試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English I ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。</li> <li>・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。</li> </ul> <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。（講義・演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Email（job applications）</li> <li>2. Unit 8 Processes（現在完了形）</li> <li>3. Time management</li> <li>4. Discussing and reaching agreement</li> <li>5. Presentation（トークを組み立てる）</li> <li>6. Telephoning（電話での会話）</li> <li>7. Unit 9 The Business of sports（関係詞）</li> <li>8. Describing personal qualities at work</li> <li>9. Job interviews</li> <li>10. Changing Plans</li> <li>11. Unit 10 Great partnerships (should/ shouldn't have)</li> <li>12. Changing Career</li> <li>13. Teleconferencing and videoconferencing</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 後期末試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Making connections①</li> <li>2. Making connections②</li> <li>3. International design①</li> <li>4. International design②</li> <li>5. Review①</li> <li>6. Discussion practice</li> <li>7. Future lifestyles①</li> <li>8. Future lifestyles②</li> <li>9. Heritage①</li> <li>10. Heritage②</li> <li>11. Review②</li> <li>12. Fashion and function①</li> <li>13. Fashion and function②</li> <li>14. Review③</li> <li>15. Discussion practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 <sup>rd</sup> Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Hospitality Service English I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Using innovation①</li> <li>2. Using innovation②</li> <li>3. Work styles and careers①</li> <li>4. Work styles and careers②</li> <li>5. Review①</li> <li>6. Discussion practice</li> <li>7. Processes①</li> <li>8. Processes②</li> <li>9. The business of sport①</li> <li>10. The business of sport②</li> <li>11. Review②</li> <li>12. Great partnerships①</li> <li>13. Great partnerships②</li> <li>14. Review③</li> <li>15. Discussion practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 <sup>rd</sup> Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service English I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Making Connections-Social Networks and the Internet</li> <li>2. Making Connections-Writing a Professional Profile</li> <li>3. Making Connections-Networking</li> <li>4. International Design-Starting a New Business</li> <li>5. International Design-Team Meetings</li> <li>6. International Design-Checking Progress</li> <li>7. Future Lifestyles-The Speed of Change</li> <li>8. Future Lifestyles-Emails</li> <li>9. Future Lifestyles-Making Arrangements</li> <li>10. Heritage-City Descriptions</li> <li>11. Heritage-Presentations</li> <li>12. Heritage-Giving Opinions</li> <li>13. Fashion and Function-Colours and Colour Idioms</li> <li>14. Fashion and Function-Telephoning</li> <li>15. Fashion and Function-Giving Advice and Suggestions</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。</p> <p>理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。</p> <p>採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Using Innovation-Water Footprint</li> <li>2. Using Innovation-Presentation</li> <li>3. Using Innovation-Describing Problems</li> <li>4. Work Styles and Careers- Money and Finance Vocabulary</li> <li>5. Work Styles and Careers-Emails</li> <li>6. Work Styles and Careers-Discussing and Reaching Agreement</li> <li>7. Processes-Product Journey</li> <li>8. Processes-Time Management</li> <li>9. Processes-Checking Understanding and Clarifying</li> <li>10. The Business of Sport-Describing Personal Qualities at Work</li> <li>11. The Business of Sport-Job Interviews</li> <li>12. The Business of Sport-Changing Plans</li> <li>13. Great Partnerships-Changing Careers</li> <li>14. Great Partnerships-Teleconferencing and Videoconferencing</li> <li>15. Great Partnerships-Catching Up</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)	
学科・学年	英語本科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 1</li> <li>7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 2</li> <li>10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 3</li> <li>13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review)</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back and syllabus review.</li> <li>2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide)</li> <li>3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review)</li> <li>4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide)</li> <li>5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review)</li> <li>6. Presentation skills assignment 4</li> <li>7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide)</li> <li>8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review)</li> <li>9. Presentation skills assignment 5</li> <li>10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide)</li> <li>11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review)</li> <li>12. Presentation skills assignment 6</li> <li>13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide)</li> <li>14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review)</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Vocabulary Building I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their vocabulary skills. To achieve this students will study vocabulary and have vocabulary tests each class. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Section A Units 1, 2, 3 and 4 vocabulary quiz</li> <li>3. Section A Units 5, 6, 7 and 8 vocabulary quiz</li> <li>4. Section A Units 9, 10, 11 and 12 vocabulary quiz</li> <li>5. Section A Units 13, 14, 15 and 16 vocabulary quiz</li> <li>6. Section A Units 17, 18, 19, 20 and 21 vocabulary quiz</li> <li>7. Section A Units 22, 23, 24, 25 and 26 vocabulary quiz</li> <li>8. Section A Units 27, 28, 29 and 30 vocabulary quiz</li> <li>9. Section A Units 1-30 review and vocabulary quiz</li> <li>10. Section B Units 1, 2, 3, 4 and 5 vocabulary quiz</li> <li>11. Section B Units 6, 7, 8, 9 and 10 vocabulary quiz</li> <li>12. Section B Units 11, 12, 13, 14 and 15 vocabulary quiz</li> <li>13. Section B Units 16, 17, 18, 19 and 20 vocabulary quiz</li> <li>14. Section B Units 21, 22, 23, 24 and 25 vocabulary quiz</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Expanding your vocabulary skills
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Vocabulary Building I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their vocabulary skills. To achieve this students will study vocabulary and have vocabulary tests each class. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus.</li> <li>2. Section B Units 26, 27, 28, 29 and 30 vocabulary quiz</li> <li>3. Section B Units 31, 32, 33, 34 and 35 vocabulary quiz</li> <li>4. Section B Units 36, 37, 38, 39 and 40 vocabulary quiz</li> <li>5. Section B review and vocabulary quiz</li> <li>6. Section C Units 1, 2, 3 and 4 vocabulary quiz</li> <li>7. Section C Units 5, 6, 7 and 8 vocabulary quiz</li> <li>8. Section C Units 9, 10, 11 and 12 vocabulary quiz</li> <li>9. Section C Units 13, 14, 15 and 16 vocabulary quiz</li> <li>10. Section C Units 17, 18, 19, 20 and 21 vocabulary quiz</li> <li>11. Section C Units 22, 23, 23, 24. 25 and 26 vocabulary quiz</li> <li>12. Section C Units 27, 28, 29 and 30 vocabulary quiz</li> <li>13. Section C review and vocabulary quiz</li> <li>14. Section A, B, C review and vocabulary quiz</li> <li>15. Second semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Expanding your vocabulary skills
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Grammar Clinic I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠な道具である英文法の基礎を確認する。多くの学生が苦手意識を持ち、学ぶことを避ける傾向にある「語彙」や「文法」を理解し、自信をもって運用できるレベルまで押し上げることを目標とする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 並び方のルール 英語の構造と語順①</li> <li>2. 並び方のルール 英語の構造と語順②</li> <li>3. 語句や節のつながり 英語の構造と語順③</li> <li>4. 語句や節のつながり 英語の構造と語順④</li> <li>5. be 動詞と一般動詞 SVC / SVO / SV</li> <li>6. 一般動詞の使い方 SVOO</li> <li>7. 一般動詞の使い方 SVOC</li> <li>8. 「～される」を表す表現 受動態と能動態①</li> <li>9. 「～される」を表す表現 受動態と能動態②</li> <li>10. 英語の時間感覚① 現在形、現在進行形、過去形、未来表現</li> <li>11. 英語の時間感覚② 現在完了形 過去完了形</li> <li>12. 否定① さまざまな否定表現</li> <li>13. 否定② 否定表現における倒置</li> <li>14. 前置詞 前置詞のイメージ</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Grammar Clinic I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠な道具である英文法の基礎を確認する。多くの学生が苦手意識を持ち、学ぶことを避ける傾向にある「語彙」や「文法」を理解し、自信をもって運用できるレベルまで押し上げることを目標とする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動詞の意味を補助する語 助動詞①</li> <li>2. 動詞の意味を補助する語 助動詞②</li> <li>3. 名詞と冠詞</li> <li>4. 名詞の働きをする語句① 動名詞</li> <li>5. 名詞の働きをする語句② 不定詞の名詞的用法</li> <li>6. 使役動詞と知覚動詞</li> <li>7. 形容詞の働きをする語句と節① 不定詞の形容詞的用法</li> <li>8. 形容詞の働きをする語句と節② 現在分詞と過去分詞</li> <li>9. 形容詞の働きをする語句と節③ 関係代名詞</li> <li>10. 形容詞の働きをする語句と節④ 関係副詞</li> <li>11. 副詞の働きをする語句 不定詞の副詞的用法</li> <li>12. 比較① 原級と比較級</li> <li>13. 否定② 最上級と慣用表現</li> <li>14. 仮定法</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Reading I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this, students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to this class and syllabus explanation.</li> <li>2. Readiness Unit (words)(parts of speech) (phrases, sentences and paragraphs)</li> <li>3. Unit 1 Present</li> <li>4. Chapter 1 - What Influence Do Businesses Have On You?</li> <li>5. Chapter 1 - What Influence Do Businesses Have On You?</li> <li>6. Chapter 2 - Is Online Communication Always Good?</li> <li>7. Chapter 2 - Is Online Communication Always Good?</li> <li>8. Chapter 3 - Why Do We Have Sports?</li> <li>9. Chapter 3 - Why Do We Have Sports?</li> <li>10. Unit 1 Wrap up</li> <li>11. Unit 2 Past</li> <li>12. Chapter 4 - Has Exercise Always Been Important?</li> <li>13. Chapter 4 - Has Exercise Always Been Important?</li> <li>14. Chapter 5</li> <li>15. First semester review and preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Reading I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this, students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours and participate in the books online practice.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome back, review of syllabus.</li> <li>2. Chapter 5 - What Can We Learn From The Past?</li> <li>3. Chapter 6 - Food Innovation</li> <li>4. Chapter 6 - Food Innovation</li> <li>5. Unit 2 Wrap up</li> <li>6. Unit 3 Future</li> <li>7. Chapter 7 - Cities Of The Future</li> <li>8. Chapter 7 - Cities Of The Future</li> <li>9. Chapter 8 - How Will We Work?</li> <li>10. Chapter 8 - How Will We Work?</li> <li>11. Chapter 9 - What Will Our World Look Like?</li> <li>12. Chapter 9 - What Will Our World Look Like?</li> <li>13. Unit 3 Wrap up</li> <li>14. Unit 1, 2, 3 review</li> <li>15. Second semester and yearly review. Preparation for examination</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	TOEIC/英検 I ① (前期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ① (後期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ② (前期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ② (後期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ③ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力(リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー)をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ③ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力(リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー)をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ④ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職活動のために資格試験は必須である。2 級の取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。2 級は単語力、リーディング力、リスニング力、ライティング力が平等に求められる。また英検 2 級の一次試験に合格した者については積極的に 2 次試験対策として面接練習を行っていく。 平常点＋定期試験で評価を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 1、2 日目</li> <li>2. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 3、4 日目 単語テスト 2 級①</li> <li>3. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 5、6 日目 単語テスト 2 級②</li> <li>4. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 7、8 日目 単語テスト 2 級③</li> <li>5. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 9、10 日目 単語テスト 2 級④</li> <li>6. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 11、12 日目 単語テスト 2 級⑤</li> <li>7. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 13、14 日目 単語テスト 2 級⑥</li> <li>8. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 15、16 日目 単語テスト 2 級⑦</li> <li>9. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 17、18 日目 単語テスト 2 級⑧</li> <li>10. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 19、20 日目 単語テスト 2 級⑨</li> <li>11. 2 級問題演習 ① 単語テスト 2 級⑩</li> <li>12. 2 級問題演習 ② 単語テスト 2 級⑪</li> <li>13. 2 級問題演習 ③ 単語テスト 2 級⑫</li> <li>14. 2 級問題演習 ④ 単語テスト 2 級⑬</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Daily20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検 I ④ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職活動のために資格試験は必須である。TOEIC600 点取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。またスピーキングも行い、点数取得のための英語ではなく、実際に使える英語を学ばせる。 平常点+定期試験で評価を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit1</li> <li>2. Unit2</li> <li>3. Unit3</li> <li>4. Unit4</li> <li>5. Unit5</li> <li>6. Unit6</li> <li>7. Unit7</li> <li>8. Unit8</li> <li>9. Unit9</li> <li>10. Unit10</li> <li>11. Unit11</li> <li>12. Unit12</li> <li>13. TOEIC 演習</li> <li>14. TOEIC 演習</li> <li>15. TOEIC 演習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Daily20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検 I ⑤ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級 (1 次試験) の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明) 2, 3. 基礎編：単語・熟語 4, 5. 基礎編：文法・語法 6, 7. 基礎編：長文読解① 8, 9. 基礎編：長文読解② 10, 11. 基礎編：長文読解③ 12, 13. 基礎編：長文読解④ 14, 15. 基礎編：長文読解⑤ 16, 17. 基礎編：英作文 18, 19. 基礎編：リスニング① 20, 21. 基礎編：リスニング② 22, 23. 応用編：単語・熟語① 24, 25. 応用編：単語・熟語② 26, 27. 2 次試験対策① 28, 29, 30. 2 次試験対策②
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ [新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑤ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級 (1 次試験) の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1, 2. 応用編：文法・語法① 3, 4. 応用編：文法・語法② 5, 6. 応用編：短文の語句空所補充① 7, 8. 応用編：短文の語句空所補充② 9, 10. 応用編：長文の語句空所補充① 11, 12. 応用編：長文の語句空所補充② 13, 14. 応用編：長文の内容一致選択① 15, 16. 応用編：長文の内容一致選択② 17, 18. 応用編：英作文① 19, 20. 応用編：英作文② 21, 22. 応用編：英作文③ 23, 24. 応用編：リスニング① 25, 26. 応用編：リスニング② 27, 28. 2 次試験対策③ 29, 30. 2 次試験対策④
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ [新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 月 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英検についての説明 実力単語テスト</li> <li>2. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>3. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>4. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>5. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>6. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法</li> <li>7. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法</li> <li>8. 筆記 1 の単語、熟語の復習</li> <li>9. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>10. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>11. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>12. 筆記 2 の単語、熟語の復習</li> <li>13. 英作文問題を攻略</li> <li>14. 2 級模擬試験</li> <li>15. 2 級模擬試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 月 (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎編の復習 テスト</li> <li>2. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>3. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語</li> <li>4. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>5. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語</li> <li>6. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法</li> <li>7. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法</li> <li>8. 筆記 1 の単語、熟語の復習</li> <li>9. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>10. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>11. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略</li> <li>12. 筆記 2 の単語、熟語の復習</li> <li>13. 英作文問題を攻略</li> <li>14. 2 級模擬試験</li> <li>15. 2 級模擬試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 木 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>2. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>3. リスニング第 1 部 ①</li> <li>4. リスニング第 1 部のスクリプトチェック</li> <li>5. リスニング第 2 部 ①</li> <li>6. リスニング第 2 部のスクリプトチェック</li> <li>7. 英作文問題</li> <li>8. 英作文問題</li> <li>9. 英作文問題</li> <li>10. 英作文問題</li> <li>11. 英作文問題</li> <li>12. リスニングテスト</li> <li>13. 英作文テスト</li> <li>14. 2 級模擬試験</li> <li>15. 2 級模擬試験</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 木（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。 短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。 英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。 リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>2. リスニング 会話の内容、単語</li> <li>3. 応用編 リスニング第 1 部 ①</li> <li>4. 応用編 リスニング第 1 部のスクリプトチェック</li> <li>5. 応用編 リスニング第 2 部 ①</li> <li>6. 応用編 リスニング第 2 部のスクリプトチェック</li> <li>7. 2 級リスニング模擬試験</li> <li>8. 2 級リスニング模擬試験</li> <li>9. 英作文問題</li> <li>10. 英作文問題</li> <li>11. 英作文問題</li> <li>12. 英作文問題を攻略</li> <li>13. 英作文テスト</li> <li>14. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング）</li> <li>15. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング）</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑦ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。</li> <li>・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。</li> <li>・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。(講義)</li> </ul>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 5,6. 4 日目 会話文の語句空所補充問題 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致選択問題 11,12. 7 日目 英作文 13,14. 8.9.10 日目 リスニング 15,16. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 17,18. 13 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 19,20. 14 日目 会話文の語句空所補充問題 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18 日目 リスニング 29,30. 19.20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等: 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	TOEIC/英検 I ⑦ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。</li> <li>・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。</li> <li>・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。(講義)</li> </ul>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 5,6. 4 日目 短文の語句空所補充問題 (語法) 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致問題 11,12. 7 日目 長文の内容一致選択問題 13,14. 8 日目 英作文 15,16. 9.10 日目 リスニング 17,18. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 19,20. 13.14 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18.19 日目 リスニング 29,30. 20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等: 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	Composition I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome to the Party! (友人へのメール)</li> <li>2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール)</li> <li>3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方)</li> <li>4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方)</li> <li>5. This Is My Dream. (自分の夢について)</li> <li>6. My Hobby Is ... (自分の趣味について)</li> <li>7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について)</li> <li>8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明)</li> <li>9. What I Experienced (印象的な思い出の説明)</li> <li>10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明)</li> <li>11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方)</li> <li>12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える)</li> <li>13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明)</li> <li>14. 英文ライティングプラクティステスト</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフ・表問題の攻略①</li> <li>2. グラフ・表問題の攻略②</li> <li>3. グラフ・表問題表現ドリル</li> <li>4. グラフ・表問題演習</li> <li>5. 本論の形式①</li> <li>6. 本論の形式②</li> <li>7. 結論のまとめかた①</li> <li>8. 結論のまとめかた②</li> <li>9. パラフレージング①</li> <li>10. パラフレージング②</li> <li>11. 地図・読解問題の攻略</li> <li>12. 地図・読解問題演習</li> <li>13. 「賛成・反対」タイプの攻略</li> <li>14. 表現ドリル</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome to the Party! (友人へのメール)</li> <li>2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール)</li> <li>3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方)</li> <li>4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方)</li> <li>5. This Is My Dream. (自分の夢について)</li> <li>6. My Hobby Is ... (自分の趣味について)</li> <li>7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について)</li> <li>8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明)</li> <li>9. What I Experienced (印象的な思い出の説明)</li> <li>10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明)</li> <li>11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方)</li> <li>12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える)</li> <li>13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明)</li> <li>14. 英文ライティングプラクティステスト</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフ・表問題の攻略①</li> <li>2. グラフ・表問題の攻略②</li> <li>3. グラフ・表問題表現ドリル</li> <li>4. グラフ・表問題演習</li> <li>5. 本論の形式①</li> <li>6. 本論の形式②</li> <li>7. 結論のまとめかた①</li> <li>8. 結論のまとめかた②</li> <li>9. パラフレージング①</li> <li>10. パラフレージング②</li> <li>11. 地図・読解問題の攻略</li> <li>12. 地図・読解問題演習</li> <li>13. 「賛成・反対」タイプの攻略</li> <li>14. 表現ドリル</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Welcome to the Party! (友人へのメール)</li> <li>2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール)</li> <li>3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方)</li> <li>4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方)</li> <li>5. This Is My Dream. (自分の夢について)</li> <li>6. My Hobby Is ... (自分の趣味について)</li> <li>7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について)</li> <li>8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明)</li> <li>9. What I Experienced (印象的な思い出の説明)</li> <li>10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明)</li> <li>11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方)</li> <li>12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える)</li> <li>13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明)</li> <li>14. 英文ライティングプラクティステスト</li> <li>15. 前期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフ・表問題の攻略①</li> <li>2. グラフ・表問題の攻略②</li> <li>3. グラフ・表問題表現ドリル</li> <li>4. グラフ・表問題演習</li> <li>5. 本論の形式①</li> <li>6. 本論の形式②</li> <li>7. 結論のまとめかた①</li> <li>8. 結論のまとめかた②</li> <li>9. パラフレージング①</li> <li>10. パラフレージング②</li> <li>11. 地図・読解問題の攻略</li> <li>12. 地図・読解問題演習</li> <li>13. 「賛成・反対」タイプの攻略</li> <li>14. 表現ドリル</li> <li>15. 後期レビュー</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級合格に必要な文法、2 次試験対策、語彙力を補っていく。 特にスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、 テストを行う。 学生同士ペアになっての対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 2. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 3. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 4. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 5. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 6. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 7. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 8. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 9. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 10. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 11. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 12. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 13. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 14. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 15. 筆記・スピーキングテスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記と発音のテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ文法・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続きスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、テストを行う。</p> <p>学生同士ペアになったの対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。</p> <p>また TOEIC のリスニングは速度が速いため、耳を慣れさせるため、こちらで用意した教材を通して、リスニング力向上を目指す</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>2. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>3. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>4. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>5. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>6. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>7. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>8. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>9. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>10. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>11. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>12. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>13. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>14. TOEIC リスニング・スピーキング</li> <li>15. リスニング・スピーキングテスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	リスニングとスピーキングのテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ表現・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明)</li> <li>2. Unit 1 ①</li> <li>3. Unit 1 ②</li> <li>4. Unit 2 ①</li> <li>5. Unit 2 ②</li> <li>6. Unit 3 ①</li> <li>7. Unit 3 ②</li> <li>8. Drills ①</li> <li>9. Unit 4 ①</li> <li>10. Unit 4 ②</li> <li>11. Unit 5 ①</li> <li>12. Unit 5 ②</li> <li>13. Unit 6 ①</li> <li>14. Unit 6 ②</li> <li>15. Drills ②</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 7 ①</li> <li>2. Unit 7 ②</li> <li>3. Unit 8 ①</li> <li>4. Unit 8 ②</li> <li>5. Drills ③</li> <li>6. Unit 9 ①</li> <li>7. Unit 9 ②</li> <li>8. Unit 10 ①</li> <li>9. Unit 10 ②</li> <li>10. Drills ④</li> <li>11. Unit 11 ①</li> <li>12. Unit 11 ②</li> <li>13. Unit 12 ①</li> <li>14. Unit 12 ②</li> <li>15. Drills ⑤</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEIC についての説明</li> <li>2. Unit1 part1-part4 リスニング</li> <li>3. Unit1 part5-part7 リーディング</li> <li>4. Unit2 part1-part4 リスニング</li> <li>5. Unit2 part5-part7 リーディング</li> <li>6. Unit3 part1-part4 リスニング</li> <li>7. Unit3 part5-part7 リーディング</li> <li>8. Unit1－Unit3 までの単語、熟語の復習</li> <li>9. Unit4 part1-part4 リスニング</li> <li>10. Unit4 part5-part7 リーディング</li> <li>11. Unit5 part1-part7 リスニング</li> <li>12. Unit5 part5-part7 リーディング</li> <li>13. Unit4－Unit5 までの単語、熟語の復習</li> <li>14. TOEIC 模擬試験 リスニング</li> <li>15. TOEIC 模擬試験 リーディング</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TOEIC 模擬試験</li> <li>2. Unit6 part1-part4 リスニング</li> <li>3. Unit6 part5-part7 リーディング</li> <li>4. Unit7 part1-part4 リスニング</li> <li>5. Unit7 part5-part7 リーディング</li> <li>6. Unit8 part1-part4 リスニング</li> <li>7. Unit8 part5-part7 リーディング</li> <li>8. Unit6ーUnit8 までの単語、熟語の復習</li> <li>9. Unit9 part1-part4 リスニング</li> <li>10. Unit9 part5-part7 リーディング</li> <li>11. Unit10 part1-part7 リスニング</li> <li>12. Unit10 part5-part7 リーディング</li> <li>13. Unit9ーUnit10 までの単語、熟語の復習</li> <li>14. TOEIC 模擬試験 リスニング</li> <li>15. TOEIC 模擬試験 リーディング</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。</li> <li>・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。</li> <li>・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)</li> </ul>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Unit 1 Self Introduction (自己紹介をする)</li> <li>3. be 動詞・一般動詞</li> <li>4. Unit 2 My Family. My Friends (家族や友人を紹介する)</li> <li>5. 名詞の単数・複数・冠詞・形容詞</li> <li>6. Unit 3 My room (部屋を描写する)</li> <li>7. There 構文・前置詞</li> <li>8. Unit 4 Everyday Activity (スケジュールを説明する)</li> <li>9. 現在形・現在進行形</li> <li>10. Unit 5 Recipes (レシピを書く)</li> <li>11. 他動詞・自動詞</li> <li>12. Unit 6 Introducing My Town (私の町を紹介する)</li> <li>13. 副詞・比較級・最上級</li> <li>14. Unit 7 Asking Questions (質問をする)</li> <li>15. WH 疑問文</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等: 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	Composition I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語本科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。</li> <li>・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。</li> <li>・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)</li> </ul>
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 8 Diary (日記を書く)</li> <li>2. Unit 9 Making a Reservation (予約のメールを書く)</li> <li>3. Unit10 Writing a Postcard (旅先からハガキを書く)</li> <li>4. Unit11 Job Hunting (自分のスキルを説明する)</li> <li>5. Unit12 Writing a Letter (フォーマルな手紙を書く)</li> <li>6. Unit13 Giving Advice (アドバイスをする)</li> <li>7. 助動詞 (can/should/must/had better/might/may/could)</li> <li>8. Unit14 Invitation (招待状を書く)</li> <li>9. Unit15 Notice (注意書きを作る)</li> <li>10. Unit16 My History (自分史を書く)</li> <li>11. Unit17 Introducing Japanese Culture (日本の文化を紹介する)</li> <li>12. Unit18 If I were (仮定の話を書く)</li> <li>13. Unit19 Expressing Your Opinion (考えを伝える)</li> <li>14. Unit20 Directions (道案内をする)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	児童英語教育 I ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約 4 年、その後 AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していく質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与え、卒業時に認定する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語教育について（児童英語教育の現状と今後）</li> <li>2. 言語習得についての基礎知識 1（学習方法の提案）</li> <li>3. 言語習得についての基礎知識 2</li> <li>4. 言語習得についての基礎知識 3</li> <li>5. 児童英語の指導法 1（レッスンプランの必要性和、立て方の基本）</li> <li>6. 児童英語の指導法 2（アクティビティの研究）</li> <li>7. 児童英語の指導法 3（子供の心理・特性の研究：子供と大人の違い）</li> <li>8. 児童英語の指導法 4（発話量の確保、悲しい子供を作らないルール設定の仕方）</li> <li>9. 児童英語の指導法 5（デモンストレーションレッスン課題発表）</li> <li>10. 児童英語の指導法 6（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ）</li> <li>11. 児童英語の指導法 7（教材作り）</li> <li>12. 児童英語の指導法 8（グループデモンストレーション）</li> <li>13. 児童英語の指導法 9（最終発表 *実技試験）</li> <li>14. 児童英語の指導法 10（フィードバック、総評など）</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育 I ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約 4 年、その後 AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していける質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童英語の指導法 11（子供の叱り方、誉め方研究）</li> <li>2. 児童英語の指導法 12（子供の興味の対象の研究）</li> <li>3. 児童英語の指導法 13（少人数クラスと大人数クラス）</li> <li>4. 児童英語の指導法 14（モノリンガルクラスとバイリンガルクラス）</li> <li>5. 児童英語の指導法 15（具体的なアクティビティと注意点）</li> <li>6. 児童英語の指導法 16（フォニックスの指導法）</li> <li>7. 児童英語の指導法 17（テキスト以外のカリキュラムの組み方）</li> <li>8. 児童英語の指導法 18（デモンストレーションレッスン課題発表）</li> <li>9. 児童英語の指導法 19（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ）</li> <li>10. 児童英語の指導法 20（グループデモンストレーション）</li> <li>11. 実技試験（最終発表、レッスンプラン提出）</li> <li>12. 実技試験のフィードバック、総評とインターンシップについて</li> <li>13. 教材の選定方法（学習目標・対象年齢・使いやすさ・教育方針・利点欠点など）</li> <li>14. 保護者対応・就職試験対策について</li> <li>15. 後期のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	長野 よしみ (実務経験 : (株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	児童英語インストラクター、英語教育関係などへの就職を目指す学生たちがビジネスの現場にて、日常生活でよく使われる表現を正確に言える能力を身につけることを目的とする。 授業の方法としては、英検や TOEIC のテスト対策に備えるため、語彙力の強化も図る。また、英検の二次対策として絵を見てできるだけ多くの英語表現が言えるように練習する。楽しく覚えられるようにペアでジェスチャーなどをして確認作業をする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 日の始まりとして朝、最初にする事</li> <li>2. 朝食を作る</li> <li>3. 外出の表現としてバスに乗る</li> <li>4. 外出の表現としてタクシーに乗る</li> <li>5. 帰宅してから夕食を作る</li> <li>6. インターネットを使う</li> <li>7. 家事の表現として洗濯をする</li> <li>8. 家事の表現としてペットの世話</li> <li>9. 買い物の支払いをする</li> <li>10. 銀行に行く</li> <li>11. メールの送受信</li> <li>12. 携帯電話を使う</li> <li>13. 映画に行く</li> <li>14. コーヒーショップでコーヒーを飲む</li> <li>15. 前期事前テストの実施</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	イラストでわかる日常生活の英語表現
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価 : 発表の出来 80 点 平常点 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常行動を英語にして訓練すること。(必ず毎日 10 個の表現を口に出して練習すること。)
履修に 当たっての 留意点	ペアワークを多く取り入れるので積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	長野 よしみ (実務経験 : (株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語関係などへの就職を目指す学生たちが、朗読の基本技術を習得することによって、「聞き手を意識すること」への重要性に気付いてもらうことを目的とする。聞き手に声がきちんと届いているか、聞き手に内容が正確に伝わっているか、聞き手に「面白い！」と思わせることが出来ているかを常に点検する。聞き手により伝わるように工夫することは、会話、スピーチ、プレゼンテーションでも必要な基礎となり、その結果、「声のトーン」や「間」や「強調」などをコントロール出来る表現が身につく、将来子供に英語の読み聞かせができるように指導する。与えられた課題について、クラスにて発表会を実施し、評価シートに基づき評価する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 朗読トレーニングのための 10 のキーワードを理解する</li> <li>2. ニュース : 気候変動と戦うドローン</li> <li>3. ニュース : 世界の人口</li> <li>4. ニュース : ロイヤル・ウェディング</li> <li>5. スピーチ : 核兵器のない世界を (バラク・オバマ)</li> <li>6. スピーチ : 核兵器のない世界を (バラク・オバマ)</li> <li>7. 詩 : 汽車に乗って (ロバート・ルイス・ステューベン)</li> <li>8. 詩 : 水仙 (ウィリアム・ワーズワース)</li> <li>9. 物語 : 豆の上のお姫さま (ハンス・クリスチャン・アンデルセン)</li> <li>10. クリスマス特別レッスン : クリスマスキャロルとクリスマスソング</li> <li>11. 物語 : 一杯のミルク (作者不明)</li> <li>12. 物語 : 路 (むじな) (小泉八雲)</li> <li>13. 後期事前テストの実施</li> <li>14. 物語 : 手袋を買いに (新美南吉)</li> <li>15. 物語 : かぼちやのなかの金色の時間 (角田光代)</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	英語は朗読でうまくなる！
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価 : 発表の出来 80 点 平常点 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から意識して人に伝わる英語を話すことを積極的に訓練すること。 (必ず毎日 1 つの話を声に出して自宅で読むことを実施すること。)
履修に 当たっての 留意点	積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育 I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 児童英語教授法の概要、Q&amp;A</li> <li>2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自己紹介の英語</li> <li>3. 母の日クラフト作成</li> <li>4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、食べ物の英語</li> <li>5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、学校生活の英語</li> <li>6. 父の日クラフト作成</li> <li>7. 手遊び歌、ペットに関する英語</li> <li>8. 手遊び歌、音楽に関する英語</li> <li>9. 手遊び歌、テレビ・エンターテインメントに関する英語</li> <li>10. 手遊び歌、クラブ活動の英語</li> <li>11. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スポーツに関する英語</li> <li>12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す</li> <li>13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す</li> <li>14. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す</li> <li>15. 実技テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育 I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期復習</li> <li>2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仮定法を用いたスピーチ作成</li> <li>3. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スピーチ発表</li> <li>4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、旅行に関する英語</li> <li>5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仕事の中で使う英語</li> <li>6. ハロウィングラフト作成</li> <li>7. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する①</li> <li>8. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する②</li> <li>9. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介①</li> <li>10. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介②</li> <li>11. クリスマスクラフト作成</li> <li>12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り①</li> <li>13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り②、発表</li> <li>14. バレンタインクラフト作成</li> <li>15. 実技テスト</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業に就いたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育 I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	近藤 桜花 (実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要になります。また、楽しみながらでないと子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Hello Song (練習・発表) / 子音の発音 p,b / Two Truth and a Lie</li> <li>2. Seven Steps / 子音の発音 c,k,g / Easter Egg 作り</li> <li>3. Are You Sleeping? / 子音の発音 t,d / 絵しりとり</li> <li>4. ABC Song・Hokey Pokey / 子音の発音 f,v / 20 Questions</li> <li>5. BINGO / 子音の発音 sh,j / BONGO</li> <li>6. Eency Weency Spider / 子音の発音 l,r / Bomb Game</li> <li>7. Head, Shoulders, Knees and Toes / 子音の発音 s,z,x / Anything Goes Basket</li> <li>8. Here We Go Round the Mulberry Bush / 子音の発音 th / Up Down</li> <li>9. London Bridge / 子音の発音 h,m,n / Who, What, Where, When</li> <li>10. Pat-a-Cake, Pat-a-Cake / 子音の発音 tr / 動物の鳴き声</li> <li>11. Hickory, Dickory, Dock / 子音の発音 dr / Explain Game</li> <li>12. The Muffin Man / 子音の発音 w,y / しりとり Bomb Game</li> <li>13. The Farmer in the Dell / 母音の発音 a,e / What time is it Mr. Wolf?</li> <li>14. Twinkle, Twinkle, Little Star / 母音の発音 i,o,u / Get the Cards</li> <li>15. 発表</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育 I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	近藤 桜花 (実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要になります。また、楽しみながらでない子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Old Macdonald Had a Farm/Shopping List (クラフト)</li> <li>2. If You're Happy and You Know It/Darts</li> <li>3. Under the Spreading Chestnut Tree/What's Missing?</li> <li>4. Sunday, Monday, Tuesday/Hanged Man</li> <li>5. Mary Had a Little Lamb/Vocab Game</li> <li>6. Humpty Dumpty/Who am I?</li> <li>7. Deck the Halls/Snake Game</li> <li>8. Jingle Bells/Don't say 21</li> <li>9. Joy to the World/Bamboo Shoot Game</li> <li>10. Silent night/Quiz</li> <li>11. We Wish You a Merry Christmas/Shouting Game</li> <li>12. Christmas Lesson</li> <li>13. 発表</li> <li>14. グループで発表 (先生バージョン)</li> <li>15. グループで発表 (先生バージョン)</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育 I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもに英語を教えるための 3 つの力とは / 品詞と文型</li> <li>2. 名詞・冠詞・代名詞 / 語彙力養成</li> <li>3. 動詞・時制 / パラフレーズ力養成</li> <li>4. 形容詞 / 副詞 / 身のまわりの単語と表現</li> <li>5. 前置詞 / 接続詞 / ローマ字について</li> <li>6. 品詞と文型まとめ</li> <li>7. 季節の文化学習(春) / 語彙力・パラフレーズ力演習</li> <li>8. 子どもが受験する英語の試験への挑戦 / フォニックスについて</li> <li>9. 英検スピーキング試験指導について / フォニックス演習</li> <li>10. 季節の文化学習(夏) / 前期試験前リスニング演習</li> <li>11. リスニング(フォニックスルール)テスト / 前期試験前演習</li> <li>12. 前期試験フィードバック</li> <li>13. 前期に学習した基礎文法の演習</li> <li>14. 英検ライティング試験指導について</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編 / mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考) / 子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育 I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不定詞/状況設定力養成</li> <li>2. 季節の文化体験学習(秋) /状況設定力演習</li> <li>3. 動名詞/身のまわりの単語と表現</li> <li>4. 分詞・関係詞/英検ライティング指導演習</li> <li>5. 助動詞・仮定法/フォニックス演習</li> <li>6. 子どもが受験する英語の試験への挑戦/フォニックス演習</li> <li>7. 語彙力・パラフレーズ力演習/後期試験前リスニング演習</li> <li>8. リスニング(フォニックスルール)テスト/後期試験前演習</li> <li>9. 後期試験フィードバック</li> <li>10. 季節の文化体験学習(冬) /状況設定力演習</li> <li>11. 子どもに英語を教えるための3つの力復習/英検スピーキング試験指導演習</li> <li>12. 後期に学習した基礎文法演習</li> <li>13. 子どもが受験する英語の試験への挑戦</li> <li>14. スピーチ/模擬授業演習</li> <li>15. 一年間の総合演習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編/mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考)/子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育 I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでない子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 1 Greetings / Hello Song / <u>Feelings</u> / Two Truths and a Lie</li> <li>2. Unit 1 Greetings / Seven Steps / <u>Numbers</u> / Easter Eggs</li> <li>3. Unit 2 Basics / Under the Spreading Chestnut Tree / <u>Colors</u> / Touch It</li> <li>4. Unit 2 Basics / Row, Row, Row Your Boat / <u>Weather</u> / Bomb Game</li> <li>5. Unit 3 Q&amp;A サークルタイム / BINGO / <u>Wild Animals</u> / BINGO</li> <li>6. Unit 3 Q&amp;A サークルタイム / The ABC Song / <u>The Alphabet</u> / Spelling Game</li> <li>7. Unit 3 Q&amp;A サークルタイム / London Bridge / <u>Fruits</u> / Anything Goes Basket</li> <li>8. Unit 4 Main Topics / Head, Shoulders, Knees and Toes / <u>Body Parts</u></li> <li>9. Unit 4 Main Topics / <u>Days of the Week</u> / Months of the Year / Seasons</li> <li>10. Review</li> <li>11. Presentation / Role-Playing</li> <li>12. Unit 5 Extra Activities / Twinkle, Twinkle, Little Star / <u>Outdoors</u> / Bomb Game</li> <li>13. Unit 5 Extra Activities / If you're Happy... / <u>Shapes</u> / Charades</li> <li>14. Unit 6 Fillers / Marry Has a Little Lamb / <u>Clothes</u> / Get the Card</li> <li>15. Unit 6 Fillers / Old Macdonald / <u>Farm Animals</u> / Put the Ball in the Cup</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選 / Flashcards
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームなどを楽しんで参加してください。</p> <p>Try to come up with original games and activities.</p>

科目名	児童英語教育 I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必修</span> ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでない子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 6 Likes and Dislikes 好き嫌い / Do Re Mi / Darts</li> <li>2. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Hokey Pokey / Explain Game</li> <li>3. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Ten Little Indians / Shopping Game</li> <li>4. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Humpty Dumpty / What's Missing?</li> <li>5. Unit 8 Apologizing 謝罪 / Halloween Vocabularies / Hangman</li> <li>6. Unit 8 Apologizing 謝罪 / The Wheels on the Bus / Vocabulary Game</li> <li>7. Unit 9 Talking about Food 食べ物 / The Finger Family / Who am I?</li> <li>8. Unit 10 Talking about Food 食べ物 / Little Peter Rabbit / Snake Game</li> <li>9. Unit 11 Talking about Money お金 / A whole New World / Don't Say 21</li> <li>10. Unit 10 Talking about Money お金 / A Whole New World / Bamboo Shoot Game</li> <li>11. Christmas Vocabulary / Song / Quiz</li> <li>12. Review</li> <li>13. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World / Shouting Game</li> <li>14. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World</li> <li>15. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。 ゲームなどを楽しんで参加してください。

科目名	Discussion & Sales Skills I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	議論し、相手を論破することだけを目的とするディスカッションではなく、日常生活で学生同士が話すような部活や SNS やネットショッピングなど、ごく身近なトピックスをテーマに、自分の意見を論理的に英語で発信できることを目的とします。多彩なペアワークとグループワークを通し、多面的な思考からクリティカル・シンキングと発信力を高めると同時に、自然な会話表現なども取り入れた創意にあふれるディスカッションを目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Speaking About Yourself ①</li> <li>2. Speaking About Yourself ②</li> <li>3. What Do You Do? ①</li> <li>4. What Do You Do? ②</li> <li>5. Review ①</li> <li>6. What Does He Look Like? ①</li> <li>7. What Does He Look Like? ②</li> <li>8. Where Are You From? ①</li> <li>9. Where Are You From? ②</li> <li>10. Review ②</li> <li>11. Likes and Dislikes ①</li> <li>12. Likes and Dislikes ②</li> <li>13. What's She like? ①</li> <li>14. What's She like? ②</li> <li>15. Discussion Practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Speaking of People
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Discussion & Sales Skills I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	議論し、相手を論破することだけを目的とするディスカッションではなく、日常生活で学生同士が話すような部活や SNS やネットショッピングなど、ごく身近なトピックスをテーマに、自分の意見を論理的に英語で発信できることを目的とします。多彩なペアワークとグループワークを通し、多面的な思考からクリティカル・シンキングと発信力を高めると同時に、自然な会話表現なども取り入れた創意にあふれるディスカッションを目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Tell Me About Your Family ①</li> <li>2. Tell Me About Your Family ②</li> <li>3. Communication ①</li> <li>4. Communication ②</li> <li>5. Review ①</li> <li>6. How Are You Feeling? ①</li> <li>7. How Are You Feeling? ②</li> <li>8. Memories ①</li> <li>9. Memories ②</li> <li>10. Review ②</li> <li>11. Talking About Health ①</li> <li>12. Talking About Health ②</li> <li>13. Mindset ①</li> <li>14. Mindset ②</li> <li>15. Discussion Practice</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Speaking of People
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Tourism I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	安全に、楽しく旅行するためには知識と旅行先の人たちとのコミュニケーションが大切です。海外旅行に出かける際、また海外から日本に訪れる外国人旅行者としっかり会話ができるように実践的な英語を学習します。 ロールプレイングなどで繰り返し色々なパターンを練習する事で、接遇する場面で役立つ力をつけます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進め方と評価方法の説明、Greetings and Introduction</li> <li>2. [Travel in General 旅行一般](講義) Unit 1 Travel 旅行</li> <li>3. Unit 2 Jobs and People 業務と職員</li> <li>4. まとめ 練習問題 (演習)</li> <li>5. [Traveling Abroad 海外旅行] Unit 3 Getting on the plane 搭乗する</li> <li>6. Unit 4 At the Immigration and Customs 出入国管理と税関にて</li> <li>7. Unit 5 At the Airport 空港にて</li> <li>8. Unit 6 Hotel (Accommodations) 宿泊</li> <li>9. Unit 7 Restaurant (Breakfast and Fast Food) レストラン</li> <li>10. Unit 8 Sightseeing 観光</li> <li>11. Unit 9 Shopping ショッピング</li> <li>12. Unit 10 Transportation 交通機関</li> <li>13. Unit 11 Problems and Complaints 問題と苦情</li> <li>14. 前期まとめ 模擬旅行</li> <li>15. 前期まとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	English for Tourism ベーシック観光英語 (三修社)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業内の演習 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	旅行に関する番組を見たり、旅行に関する本を読むなど、常に新しい情報を収集する事。 ニュースなどで世界の状況を把握する事。
履修に 当たっての 留意点	疑問に思う事はその場で解決するために積極的に質問してください。 様々な状況を意識することで学習意欲を高めてください。

科目名	Tourism I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続き、安全に、楽しく旅行するための知識とコミュニケーション力を高めていきます。旅行や観光の際の様々な場面での専門的な用語や言い回しを覚え、実践に必要な英語力をつけます。また、様々な国の観光名所や文化の違いにも触れ、旅行に関する知識や意識も高めます。</p> <p>ロールプレイングなどで繰り返し色々なパターンを練習する事で、接遇する場面で役立つ力をつけます。模擬旅行を計画したり、グループワークなどでも学習意欲を高めます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Traveling in Japan] 国内旅行について</li> <li>2. Transportation from the Airport to the Hotel</li> <li>3. At a Hotel : Explaining a key card</li> <li>4. At a Hotel : Departure by Taxi</li> <li>5. Greeting a Guest at the Ryokan</li> <li>6. How to use a Ryokan Bath</li> <li>7. Dinner Service at the Ryokan</li> <li>8. Japanese Restaurant</li> <li>9. Gifts and Souvenirs</li> <li>10. Bullet Train Tickets</li> <li>11. Taking a Taxi</li> <li>12. Sightseeing</li> <li>13. City Tours in Tokyo / Nagoya</li> <li>14. 後期まとめ 模擬旅行</li> <li>15. 1 年のまとめ</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	English for Tourism ベーシック観光英語 (三修社)
成績評価方法 及び 基準	<p>期末試験 (筆記) : 80 点、授業内の演習 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>旅行に関する番組を見たり、旅行に関する本を読むなど、常に新しい情報を収集する事。 ニュースなどで世界の状況を把握する事。</p>
履修に 当たっての 留意点	<p>疑問に思う事はその場で解決するために積極的に質問してください。 様々な状況を意識することで学習意欲を高めてください。</p>

科目名	International Hospitality（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルで使われる英語知識・表現を身につけ、留学時に宿泊客としての受け答えをスムーズに行えるようにする。  （演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Transportation</li> <li>2. Transportation</li> <li>3. At a Check-in Counter</li> <li>4. At a Check-in Counter</li> <li>5. Facilities and Services</li> <li>6. Facilities and Services</li> <li>7. Giving Directions</li> <li>8. Giving Directions</li> <li>9. Recommending a Trip</li> <li>10. Recommending a Trip</li> <li>11. Dining in Japan①</li> <li>12. Dining in Japan①</li> <li>13. Dining in Japan②</li> <li>14. Dining in Japan②</li> <li>15. 復習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Hospitality on the Scene
成績評価方法 及び 基準	ペアプラクティス、グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと。

科目名	International Hospitality (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホテルで使われる英語知識・表現を身につけ、留学時に宿泊客としての受け答えをスムーズに行えるようにする。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Arranging a Tour</li> <li>2. Staying at a Ryokan</li> <li>3. Culture Experience in Japan①</li> <li>4. Culture Experience in Japan②</li> <li>5. Japanese Souvenirs</li> <li>6. Dealing with Health Problems and Emergencies</li> <li>7. Dealing with Complaints and Accidents</li> <li>8. Upon Departure</li> <li>9. ベルスタッフが使う英語</li> <li>10. フロントスタッフが使う英語</li> <li>11. レストランスタッフが使う英語</li> <li>12. ハウスキーピングが使う英語</li> <li>13. ホテル施設案内</li> <li>14. 名古屋市内案内</li> <li>15. 復習</li> </ol>
使用テキスト ・教材等	Hospitality on the Scene
成績評価方法 及び 基準	ペアプラクティス、グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと。